

目次

保健・医療・福祉

アクセシブル・ラボ(宇都宮市)	1
宇都宮国際障がい者乗馬協会(宇都宮市)	2
うりずん(宇都宮市)	3
自由空間ポー(宇都宮市)	4
自立生活センターとちぎ(宇都宮市)	5
チャレンジド・コミュニティ(宇都宮市)	6
栃木DARC(ダルク)(宇都宮市)	7
ピンクリボンうつのみや(宇都宮市)	8
フードバンクうつのみや(宇都宮市)	9
フードバンクあしかが(足利市)	10
蔵の街たんぼぼの会(栃木市)	11
まごの手(佐野市)	12
CCV(鹿沼市)	13
はばたき(日光市)	14
そらいろコアラ(小山市)	15
みらい(野木町)	16
とちぎ障害者労働自立センターゆめ(高根沢町)	17

文化・芸術・スポーツ・国際

スペシャルオリンピックス日本・栃木(宇都宮市)	18
岩船山クリフステージ(栃木市)	19
山本有三記念会(栃木市)	20
アーシャ=アジアの農民と歩む会(那須塩原市)	21
MCAA(益子町)	22
もうひとつの美術館(那珂川町)	23

環境・まちづくり・防災

グラウンドワーク西鬼怒(宇都宮市)	24
コムラボ(足利市)	25
太平山南山麓友の会(栃木市)	26
渡良瀬エコビレッジ(栃木市)	27
エコロジーオンライン(佐野市)	28
足尾に緑を育てる会(日光市)	29
クロスアクション(那須烏山市)	30

民間稲作研究所(上三川町)	31
トチギ環境未来基地(益子町)	32
オオタカ保護基金(市貝町)	33
みぶまち地域活性化21(壬生町)	34
くまの木里の暮らし(塩谷町)	35
栃木県防災士会(那須町)	36
那須高原自然学校(那須町)	37

こども・若者・女性

ウイメンズハウスとちぎ(宇都宮市)	38
宇都宮子ども劇場(宇都宮市)	39
KHJとちぎベリー会(宇都宮市)	40
青少年の自立を支える会(宇都宮市)	41
チャイルドラインとちぎ(宇都宮市)	42
とちぎユースサポーターズネットワーク(宇都宮市)	43
とちぎユースワークカレッジ(宇都宮市)	44
栃木おやこ劇場(栃木市)	45
だいじょうぶ(日光市)	46
なんとなくのにわ(日光市)	47
子どもの育ちを支える会 さくらネット小山(小山市)	48
とちぎ多胎ネット(小山市)	49
発達支援 飛翔のもり(小山市)	50
ハロハロラボ(真岡市)	51
風車(矢板市)	52
青二才(下野市)	53
みんなのカタチ(茂木町)	54
いちかい子育てネット 羽ばたき(市貝町)	55

中間支援

宇都宮まちづくり市民工房(宇都宮市)	56
とちぎ協働デザインリーグ(宇都宮市)	57
とちぎボランティアネットワーク(宇都宮市)	58
ハイジ(栃木市)	59
かめま市民活動サポーターズ(鹿沼市)	60
ま・わ・た(真岡市)	61

用語の解説

※「用語の解説」については、本デジタルブック内での定義となります。

■協働

県民、ボランティア、社会貢献活動団体、地域団体、企業、行政などの地域社会の構成員が、地域における課題解決のために、対等の立場で、互いの違いを認め補い合い、目的を共有しながら、連携・協力していくことです。

■NPO

Non-Profit Organizationの略で、ボランティア団体や市民活動団体などの「非営利組織」を広く指します。株式会社などの営利企業とは違って、「利益追求のためではなく、社会的な使命の実現や課題の解決を目指して活動する組織」のことです。

■NPO法人

NPOのうち、特定非営利活動促進法に基づき法人格を取得した法人のことです。

■認定NPO法人

NPO法人のうち、その運営組織及び事業活動が適正であって、公益の増進に資するものにつき一定の基準に適合したものと、所轄庁の認定を受けたNPO法人をいいます。

■正会員/賛助会員

NPO法人の総会における議決権を有する構成員を社員といい、一般的には正会員と呼称されています。賛助会員は、議決権を持たない個人又は団体等を指します。

■中間支援

市民、NPO、企業、行政等の間にたつて様々な活動を支援することです。相談対応、情報提供、人材育成、団体間のネットワークづくりなどの役割を担います。

■子どもの居場所

家庭や学校以外で、子どもが安心・安全に過ごせる第三の居場所(サードプレイス)のことです。学習支援、子ども食堂、交流の場など、様々な形態があります。

■子ども食堂

子ども食堂は、子どものために無料又は低額で食事を提供する地域の居場所です。食事の提供以外にも孤食の解消や地域交流の場となっています。

■就労継続支援A型

一般企業に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が可能である者に対して、雇用契約の締結等による就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供を行います。

■就労継続支援B型

一般企業に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が困難である者に対して、就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供を行います。

■地域包括支援センター

保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員などの専門職が配置され、高齢者の生活を支援するために市町村が設置する総合機関です。専門性を活かしながらチームで業務を行っています。

■フードバンク

食品関連事業者や農家、家庭などから、余っている食品の寄付を受け、生活困窮世帯、食料を必要とする施設や団体などに無償で提供する活動のことです。

■フードドライブ

家庭で余っている食品を回収拠点(スーパーや自治体など)やイベントに持ち寄り、地域のフードバンク、福祉施設、子ども食堂、生活困窮者支援団体などに寄付する活動のことです。

■CSR

Corporate Social Responsibility(企業の社会的責任)の略称です。企業活動において、社会的公正や環境などへの配慮を組み込み、従業員、投資家、地域社会などの利害関係者に対して責任ある行動をとるとともに、説明責任を果たしていくことを求める考え方です。

■SDGs

Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称です。2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

保健・医療・福祉

NPO法人アクセシブル・ラボ

理事長 大塚訓平
住所 〒320-0051 栃木県宇都宮市上戸祭町551
電話 028-622-3905
会員数 正会員 10名
法人設立年 2013年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000638>

ホームページ <https://accessible-labo.org/>

Facebook



Instagram



★ 設立の趣旨

マチ・モノ・コト・ヒト

世の中に潜む様々な社会障害を当事者と一緒にPOPに解決します。

★ 事業の内容等

【コンサルティング事業】

車いすユーザーの視点を取り入れた、今までにないコンサルティングを行っています。企業・学校への研修・講演・サービス向上の提案や、障がい当事者目線に立ったハード面の改修提案なども行っています。

(1) まだまだマナー | 自動車メーカー

車椅子使用者用駐車施設の利用におけるマナー向上を目的とした動画を監修いたしました。大人から子どもまで楽しく理解できるユニークな歌のアニメとなっています。そこには、車いすユーザーの移動のお困りごとを少しでも解消したいという願いが込められています。<https://x.com/TOYOTA PR/status/1640624874984202245>

(2) モバイルトイレ | 自動車メーカー

一緒にいつでも・どこでも・だれにでも快適なトイレが使える移動型バリアフリートイレレーター監修しています。<https://www.toyota.co.jp/mobile-toilet/>

(3) 銀座アクセシブルガイドマップ | タイムアウト東京・全銀座会

銀座(東京都)の誰もが安心して、楽しく散策できる「アクセシブルガイド」の監修をしています。トイレ案内や、災害時の一時滞在施設なども分かりやすく表示しています。

<https://www.timeout.jp/tokyo/ja/things-to-do/ginza-accessible-map-ed2>

(4) 座・フィットネス® | 菓子・食品メーカー

障がいの有無に関わらず、老若男女だれでも楽しめるよう、座位(車いすorイスに座ったまま)・立位どちらでも行えるようにプログラムされたダンスフィットネス「座・フィットネス®」を実施しています。また、本プログラムの指導者養成講座も行っています。

[\(https://za-fitness.net/\)](https://za-fitness.net/)

★ 私たちが提供できること

① アクセシビリティの理解促進

アクセシビリティの考え方をわかりやすく伝えることができます。

② 全国的なネットワークを活かした情報提供

全国の車いすユーザーとのつながりの中から、様々な情報を提供できます。

③ 人材育成

様々な社会障害に対して、バリアフリーを提言できる人材を養成(派遣)できます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

① 障がい当事者の意見をデザインの上流過程から取り入れるという、インクルーシブデザインを活用した製品・サービス開発、建築面でのアクセシビリティ向上に関するアドバイス、コンサルティングを得意としております。社会課題解決に直結するプロダクトやサービスをともに創りましょう。

② 「座・フィットネス®」をはじめ、障がい者と健常者が混ざり合う様々なプログラムを実施しています。ぜひ一度参加見学いただき、一緒にできることを考えてみましょう！

③ 市街地や、観光地などにおいて「アクセシブルマップ」は、選ばれる地域となるためにも有効です。一緒に「マチ」について見直してみませんか？



NPO法人宇都宮国際障がい者乗馬協会

理事長 五月女裕久彦
住所 〒321-0901 栃木県宇都宮市平出町2785
電話 028-689-1117
会員数 正会員14名 賛助会員2名
法人設立年 2006年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000323>

メールアドレス tategami2785@aol.com

ホームページ <https://tategami2785.wixsite.com/tategami>

★ 設立の趣旨

心身に障がいやストレスをもつ人たちに、馬を介在として障がいの程度に応じてふさわしいサービスの提供体制を確保し、障がい者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、サービスを提供する事業や乗馬に関するイベントを行い、障がい者の自立・就労・健康及び生活の質の向上に寄与します。

★ 事業の内容等

- ①就労支援
一般就労に向けて作業や実習、適性に合った職場探し、職場定着支援などを行っています。
- ②グループホームファミリア
障がいのある人が世話人などから生活や健康管理のサポートを受けながら、共同生活を送れる環境を提供しています。
- ③ピルエット(放課後等デイサービス、児童発達支援事業所)
馬と接する機会を障がいのある人に提供し、健康や暮らしの向上を図ります。乗馬大会や体験乗馬会も開いています。

★ 私たちが提供できること

- ①除草作業のノウハウ提供
県有地の除草作業を行っています。当該作業で培ったノウハウを提供することができます。
- ②農福連携による農業支援
農家と障がい者が連携して農作業を行う農福連携事業を行っています。当該事業で培った農産物出荷などのノウハウを提供することができます。
- ③障がい者の雇用支援
ビジネスホテルで障がい者が勤務経験を積むことにより雇用に結びつけるための事業を行っています。そこで培った人材育成のノウハウを提供することができます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみよう

- ①障がい者に就労を身近に感じてもらうため、企業での実習生の受け入れ先を募集しています。障がい者の雇用を検討している企業の方は、お気軽にご連絡ください。
- ②乗馬大会や体験乗馬会における人的支援をお願いすることで、企業などとの連携を深めたいです。



認定NPO法人うりずん

理事長 高橋昭彦
住所 〒321-2116 栃木県宇都宮市徳次郎町365-1
電話 028-601-7733
会員数 正会員41名 賛助会員782名 140団体
法人設立年 2012年 認定 2014年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000562>

ホームページ <https://npourizn.org/>

Facebook



Instagram



★ 設立の趣旨

私たちの住む地域のどこかで、重い障がいを抱えた子どもたちと、24時間体制でその子どもを介護している家族が暮らしています。「うりずん」は、子どもたちが友だちと楽しく遊び、保護者が介護から離れてひと息つける場所です。障がいのある子どもとその家族が、地域で「ふつう」に暮らせる社会の実現を目指しています。

★ 事業の内容等

①通所事業

医療的ケアが必要な障がいのある方に日中活動を提供する「日中一時支援うりずん」、未就学児に成長発達を促す支援を行う「児童発達支援(重心型)はりゆん」、就学中の子どもに放課後や長期休暇中の活動を提供する「放課後等デイサービス(重心型)わらゆん」を運営しています。

②訪問事業

「居宅介護・重度訪問介護・移動支援ていーだ」では、障がいのある方のご自宅にスタッフが伺い、見守りや入浴、通院・外出時の付き添いを行っています。

③相談事業

「相談支援 ゆくゆん」では、障がいのある方や保護者からの依頼を受けて「サービス等利用計画」を作成し、定期的なモニタリングを行うほか、多様な相談に応じています。

④栃木県からの受託事業

県障害福祉課から委託を受け、「栃木県医療的ケア児等支援センターくるん」を運営しています。医療的ケアが必要なお子さんとそのご家族、関係者が気軽に相談できる支援セ

ンターです。また、県医療政策課からも委託を受け、「栃木県小児在宅医療体制構築事業」にも携わっています。

★ 私たちが提供できること

①企業・団体の協賛制度「うりずん応援団」での広報

この制度は、企業・団体からの協賛金を広告宣伝費として計上できるメリットがあります。また、協賛企業の認知度向上を図るため、「うりずん」ではホームページや広報誌、ポスター掲示、イベントなどで協賛企業・団体をPRしています。

②地域イベントでの連携

イベントを共催できます。例えば、毎年10月には「ふれあいまつり in うりずん」を開催。2024年は地域住民や利用者家族ら約500人が参加し、併せて出展団体の活動報告を行いました。毎年6月に宇都宮動物園で開催される「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」では、利用者家族と動物のふれあいをご支援いただき、2025年は総勢60人のボランティアが協力してくれました。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①障がいのある方やその暮らしを知ってもらうための研修会やお祭りなどでの啓発活動を企業などと取り組みたいと思います。他団体と協力することで、地域全体の理解と支援の輪を広げていきたいと考えています。

当法人は重症心身障がい児者や医療的ケア児者の日中預かり、ホームヘルプ、ご家族への支援などを行っています。「うりずん」の理想は、ご本人とその家族が地域で自然に支えられ、当施設が不要となる社会の実現です。障がいのある人もない人も、ともに助け合える社会の実現を目指しています。

②現在、企業や他団体とは専門性を活かした多様な連携を行い、重度障がい児者や医療的ケア児者に対する社会の理解を増やす取組みを行っています。今後はこの輪をさらに広げ、業界内外とのつながりを強化していきたいと思います。将来的には重度障がい児者や医療的ケア児者が利用できる夜間預かりやグループホームの開設も構想しています。



NPO法人自由空間ポー

代表理事 本郷秀崇
住所 〒321-0973 栃木県宇都宮市岩曾町1364-6
電話 028-664-4531
会員数 正会員 20名
法人設立年 2006年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000311>

★ 設立の趣旨

自由空間ポーは、「居場所」「仲間づくりの場」の提供を通して、こころの病のある方々の社会参加を支援します。「安心して通える場所」「自分らしさが発揮できる場所」「仲間づくりと仲間同士の助け合いの場所」を目指しています。

★ 事業の内容等

①居場所事業(地域活動支援センター:宇都宮市委託事業)

こころに病を抱えた方は、何もしなくてもいられる、人間本来のリズムでゆっくり過ごせる場所が必要です。しかし、まだまだ地域には、そういった居場所が足りません。

また、「何もしない居場所」に対して、社会の理解も未だ十分とは言えません。そのため自由空間ポーはこれからも「居場所」の大切さをアピールしていきます。

居場所にはいつ来てもいつ帰っても自由です。活動時間内、何時に来てても何時に帰ってもかまいません。顔を出す程度ですぐ帰ってもいいし、ゆっくりと過ごしてもかまいません。毎日でも、週数回でも、月に数回でも大丈夫です。生活リズムのペースメーカーにすることもできるし、たまに来て生活のアクセントにすることもできます。プログラムはありません。作業もありません。好きな時に来て、お茶を飲んでお菓子を食べながら、仲間やスタッフとおしゃべりや相談をしたりして過ごします。お話をしなくても仲間と一緒にいるだけでもホッとします。マイペースで過ごせます。そんな居場所を提供しています。

②仲間同士の助け合い事業

仲間同士の助け合いを大切にしています。病気のこと、家族のこと生活のこと困ったこと、楽しかったことを、みんなで分かち合いながら過ごしています。当施設にはピアスタッフもいます。

★ 私たちが提供できること

①こころの不調を抱える方への回復支援

企業などでこころを病んでる方がいれば、元気になることができます。

②実習生受け入れ

実習生の受け入れを実施できます。10年以上の実績を通し、「何もしない」ということが、どれほどこころに病をかかえた方に大切なのかを、現場を通してお伝えできます。

③ボランティア受け入れ

ボランティアの受け入れが可能です。職場や家庭で生きる、「こころ」との向き合い方、支援方法などを提供することができます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみよう

①企業の社員食堂や休憩所などで、「何もしない居場所」を設置してみませんか？ピアスタッフと一緒におしゃべりしたり、お茶をしたり、お昼を食べたり、ただその近くにいたり。こころに病を抱えた方に一緒に向き合っていきましょう。

②休職中の方への支援プログラムに「何もしない居場所」を取り入れてみませんか？「元気になったら、会社に戻る」そのような仕組みと一緒に作りましょう。

③たくさんの情報があふれ、時間に追われることが多い社会の中で、何もなくて良い場所があることを、伝えていただけませんか？社内報や社内掲示板などを利用した情報提供などについて、ぜひご協力ください。



NPO法人自立生活センターとちぎ

理事長 齋藤康雄
住所 〒321-0923 栃木県宇都宮市下栗町2947-8 イースタンピュア103
電話 028-638-2538
会員数 正会員10名
法人設立年 2011年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000536>

メールアドレス ciltochigi@silver.plala.or.jp

ホームページ <https://www.ciltochigi.org/>

Facebook
(はーと)



Instagram
(Tochigi Cil)



X



★ 設立の趣旨

どんなに重度の障がいがあっても、自分らしく地域の中で普通に生活できるように、障がい当事者が中心になって運営している団体です。2004年に全国自立生活センター協議会へ加盟が承認され、活動が始まりました。自立生活プログラム、ピア・カウンセリング、集いの場の提供、相談支援、権利擁護活動を通して、障がいへの理解、障がい者の自立(依存先を増やす)を考え、誰もが共に暮らせる共生社会の実現を目指す活動を行っています。

★ 事業の内容等

①自立生活プログラム

障がい者が地域で生活するために、福祉制度、金銭管理や生活に関わるノウハウについて学ぶ講座です。

②ピア・カウンセリング

障がい者同士が話を聞き合い、自分を見つめ直し、自分に自信を持ち、自立のための力をつけるピア・カウンセリングです。

③相談支援

障がい者やその家族が直面する問題や、障がい者の希望する暮らしを実現するための様々な相談に応じます。

④重度訪問介護従業者養成研修

重度の肢体不自由者で日常的にサポートを必要とする方に、介護サービスを提供するための資格を取得するための研修を行います。

⑤就労継続支援B型はーと

障害者総合支援法に基づく生活介護、就労継続支援B型の事業を一体的に行い、利用者の日常生活全般の支援や居場所の提供、就労につながる支援や生産活動を行います。

★ 私たちが提供できること

①障がい者が作る製品の販売支援

障がい者が作る製品の販売などを行政や企業のご協力をいただき販売しています。

【主な販売場所と商品】

- ・来らっせ 餃子や餃子像の形をしたキャンドル
- ・和音 イチゴのキャンドルの販売
- ・とちぎ観光物産協会、ベルテラシエ大谷、宇都宮駅、宇都宮市役所など

②当事者目線のヘルパー研修の実施

当事者目線のヘルパー研修(重度訪問介護従業者養成研修)を年3回実施し、機関紙も発行しています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①障がいのある人への合理的配慮などについて学習会を開き、障がい者の権利や障がい者を取り巻く環境についての理解を一緒に深めていきたいと思ひます。

②障がいについて企業との研修会などを開催し、ボランティア参加のきっかけになれば良いと思ひます。

③大学や企業とコラボして、当事者の意見を取り入れてもらったり、災害時に役立つ商品の開発を一緒に企画したいと考えています。



認定NPO法人チャレンジド・コミュニティ

理事長 金井光一
住所 〒320-0827 栃木県宇都宮市花房2-8-6
電話 028-611-3991
会員数 正会員106名 賛助会員174名
法人設立年 2007年 認定 2018年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000364>

メールアドレス info@npocc.org

ホームページ <https://npocc.org>

Instagram
(すばる&くと)



X
(チャレンジドITセンター)



★ 設立の趣旨

団体名の「チャレンジド」は障がいや難病をもつ人を表す英語「the challenged(挑戦という使命や課題、挑戦するチャンスや資格を与えられた人)」という意味です。障がいや難病をマイナスとしてのみ捉えるのではなく、障がいや難病を持つゆえに体験する様々な事象を自分自身のため、あるいは社会のためにポジティブに活かしていこう、という想いを込めた呼称です。

活動のキーワードは「自立」「参加」「協働」です。

★ 事業の内容等

①チャレンジド(障がい者や難病の方)の一般就労に向けての訓練事業、定着支援
就労継続支援A型事業所「チャレンジドITセンター」、就労継続支援B型事業所「くと」、
自立訓練事業所「すばる」、定着支援事業所「めでい」

②チャレンジドの相談事業、外出支援・情報事業
・相談支援事業所「いま・ここ」、視覚障害者の同行援護事業所「あいさぼ」
・視覚障害者の無償運送サービス「あいさぼ運送サービス」

③チャレンジド関係者への非営利活動
・親の勉強会、土曜教室(絵画造形教室、パソコン教室)
・障害福祉理解促進事業「キャラバン隊」

★ 私たちが提供できること

①社会参加支援とノウハウの提供

障害者総合支援法に基づきチャレンジドの社会参加を応援する事業を行っています。事業の始め方、事業の運営については我々のノウハウの提供ができます。

②ダイバーシティ雇用に向けた研修

チャレンジドの社会参加のため、採用側に立った障がい者雇用と法定雇用率達成のための研修を提供できます。

今まさに求められているダイバーシティ雇用(障がい者雇用・外国人労働雇用・LGBTQ雇用など)に関するポイントや雇用を継続して働くためのノウハウを提供できます。

③福祉サービスを知る、家族向け勉強会

障がい者や難病者の社会参加に必要な福祉サービスを知るため、親(家族)の勉強会を行っています。このノウハウをさらに広めたいので一緒に活動したい団体を求めています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみよう

①今後、福祉サービスの業界では、高齢者・障がい者・児童に対する個別のサービスを一部統合した、共生型サービスの実現が求められています。我々には障がい者福祉サービスのノウハウがありますので、高齢者福祉サービス事業所や児童福祉サービス事業所の方と、新たな共生型サービスを一緒に実現しませんか？

②福祉サービスの情報提供である親(家族)の勉強会を、病院や学校など、地域の中で一緒に開催しませんか？このノウハウをさらに広めたいので一緒に活動したい団体を求めています。

これからの「住んでいてよかった」と思える地域づくりについて協働しませんか？



NPO法人栃木DARC(ダルク)

代表理事 栗坪千明
住所 〒321-0923 栃木県宇都宮市下栗町2292-7
電話 028-666-8536
会員数 正会員69名
法人設立年 2008年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)
<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000415>

メールアドレス psw@t-darc.com
ホームページ <https://www.t-darc.com/>



★ 設立の趣旨

栃木DARCは2003年2月に依存症の回復支援施設として栃木県那須町に最初の施設を開設しました。薬物依存症者とその家族に対して、地域に根ざした回復支援事業を行います。地域の人々に対し、薬物依存症に関する普及啓発事業を行い、県内及びすべての人々が健やかに暮らせる地域づくりに寄与します。

★ 事業の内容等

①薬物依存症者とその家族への回復支援事業

1st Stage Center(那須)、2nd Stage Center(野木)、3rd Stage Center(宇都宮)、Remission(那珂川)において、薬物依存回復プログラムを実施しています。

また、「喜連川社会復帰促進センター」と「宇都宮保護観察所」では薬物依存離脱を指導する講義として、SMARRPという再発予防プログラムを提供しています。「喜連川少年院」では面接とグループワークを実施しています。

②薬物依存症に関する一般に向けた啓発事業

薬物依存症の正しい理解を促すためのセミナーを開催しています。

毎月、薬物依存症に関することやスケジュール、依存症者本人の体験談などを記載したニュースレターを発行しています。

街頭又は大型店舗周辺において薬物乱用防止巡回パトロール、援助者に向けた専門家育成のための講座としてアディクションカウンセラー養成事業を実施しています。また、薬物乱用防止教室の一環として、依頼のあった学校や団体に向けて講演を行っています。

★ 私たちが提供できること

①セミナーの開催

薬物依存症に関する一般から専門家向けに、薬物依存症の正しい理解を促すためのセミナーを開催しています。

②講師派遣

薬物依存について、その時点でのできるだけ正確な情報として、乱用から依存に至る過程、依存症とはどんな病気か、何を失うか、周囲の反応や、どのような予防策が効果的かなど実際の経験談と、施設メンバーのデータを交え講演をしています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

Remission(旧 那珂川町コミュニティファーム)では、お米やナスなどを栽培しており、これらの農産物を活用し、企業と協働したいと考えています。



認定NPO法人ピンクリボンうつのみや

理事長 佐藤俊彦
住所 〒321-0112 栃木県宇都宮市屋板町561-3
電話 028-657-0808
会員数 協賛企業及び個人 約150名
法人設立年 2014年 認定 2020年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000684>

ホームページ <https://www.pinkribbon-no-wa.jp>

Facebook



★ 設立の趣旨

乳がん検診の啓発活動を通じて受診率の向上を図り、乳がんの早期発見に貢献します。早期発見を推進することで、乳がんによる死亡を減らし、女性はもちろん家族全員が安心して暮らせる社会の実現を目指します。また、早期発見・治療・フォローに関する情報提供や相談窓口を市民に広く開き、地域の健康増進に寄与します。

★ 事業の内容等

①乳がん検診普及啓発事業

栃木県宇都宮市を中心に、乳がんに関する知識を広く伝えたり、乳がんの早期発見を啓発することを目的とした活動をしています。

具体的な目標は「全国初の乳がん検診受診率60%」で、乳がんは早期発見で治る病気です。乳がんの受診率を向上させることで、乳がんの死亡者数を減らし、女性の健康だけでなく、周りの家族や友人も安心できるような社会を作ることを目指しています。

②乳がん患者・検診についての相談窓口

メールによる相談受付と専門医への取次をしています。

★ 私たちが提供できること

① 乳がん検診の啓発

栃木県宇都宮市を拠点に、乳がん検診の受診率向上を目的とした講演やイベントなどの啓発活動を行っています。代表の佐藤俊彦は「医療法人DIC宇都宮セントラルクリニック」の理事を務め、最先端の検査・治療機器を活用してがんの診療・治療に取り組んでいます。

乳がんの予防や早期発見において、画像診断機器による検診の重要性を広く伝え、切らずに治す乳がん治療の普及を目指しています。

②受診率向上への取り組み

ピンクリボンのことは知っているが、なかなか検診に行くことに結びつかないという方が、まだまだ多い現状です。今後も検診の大切さを啓発し、乳がん検診受診率向上を目指します。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①毎年10月に開催するピンクリボンセミナーでの寄付企業のブース出展や頒布チラシへの掲示を一緒に行いたいです。

②乳がん検診啓発活動として、10月を中心に、街頭キャンペーン、啓発資料配布、各メディアによる教育宣伝活動に共に取り組みましょう。

③協力企業による乳がん検診啓発活動を支援するための情報の提供とツールの活用を進めています。女性を応援している企業などと協働で事業を行うことができればと考えています。



認定NPO法人フードバンクうつのみや

理事長 木下一成
住所 〒320-0061 栃木県宇都宮市宝木町2-2554-99(ふーばハウス1F)
会員数 正会員67名
法人設立年 2019年 認定 2023年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000838>

メールアドレス info@fbu2189.org
ホームページ <https://fbu2189.org/>

X



★ 設立の趣旨

「もったいない」を「ありがとう」に。家庭や企業にある、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品を寄贈していただき、食べ物に困っている方や支援団体などに無償で提供する活動を行っています。

★ 事業の内容等

- ①フードバンク(団体から集め団体へ配ります)
食品関連企業などより寄贈された食品などを集め、福祉施設や生活困窮者の支援団体などに配る活動をしています。
- ②フードドライブ(各家庭から食品を集めます)
家庭で余っている食べ物を学校や職場、スーパーやイベント会場などに持ち寄り、それらをまとめて寄贈する活動をしています。
- ③フードパントリー(困窮家庭へ直接支援します)
公的扶助を受けていない生活困窮状態にある人や家庭、ひとり親家庭・低収入などの理由で生活に余裕のない子育て世帯などに直接食品の支援をする活動をしています。

★ 私たちが提供できること

- ①食品回収ボックス設置
実店舗に食品回収ボックスを設置し、お客様から食品の提供をいただくことができます。
- ②食品ロス削減
廃棄対象の食品や物流中の事故品、また、農家の方からは生産時の余剰作物や規格外品などの提供を受けることができます。
- ③支援物品の収集
社員や会員、取引先に向けて食品を募り、集まった物品などを持ち込んでいただけます。
- ④フードドライブの実施
会社や組合、自治体などのイベントなどに合わせてフードドライブを行います。
- ⑤災害備蓄品の入れ替え時の食品提供
企業や自治体が災害時に備蓄している食品の入れ替えの際に、賞味期限が半年以上ある食品の提供を受けることができます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

- ①社内や仲間内でのフードドライブの企画を一緒に考え、実施してみませんか。
- ②企業の皆さんと関わりのあるイベントやお祭りでフードドライブを開催しましょう。
- ③社員教育の一環としてフードロスの取組みなどを一緒に考え、社員の皆さんにフードバンクの活動を知ってもらい、活動の支援に理解をいただきたいと思います。また、企業の得意分野を活用してフードバンク活動(の意義)を広めたり、支えたりする方法がきっとあると思います。一緒に考えましょう。
公的な後ろ盾のない脆弱な活動ではありますが、必要な活動です。継続の鍵は地域の皆さんからの応援とご支援です。食のセーフティネットを一緒に作りましょう！よろしく願いします。



NPO法人フードバンクあしかが

理事長 高沢友佳里
住所 〒326-0801 栃木県足利市有楽町835
電話 070-5080-6258
会員数 正会員11名
法人設立年 2023年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000921>

メールアドレス foodbank.ashikaga@gmail.com

ホームページ <https://foodbank-ashikaga.amebaownd.com/>

Facebook



Instagram



★ 設立の趣旨

フードバンクや生活困窮者支援、就労支援、被災者支援、環境保全、社会参加促進などの事業を通じて、社会的孤立や貧困、障がいなどにより困難や不安を抱える方々が居場所や役割を見つけ、多様で幸福な生活を送れるよう支援しています。

★ 事業の内容等

①フードバンク事業

食品受贈としてフードドライブを行い、年間を通して食品寄付が見込めています。商業施設では、フードドライブを通年実施し、24時間受付をしている所もあります。具体的な場所については当法人のホームページをご参照ください。

食品寄贈では、足利市役所の担当各課で生活相談する場面において、市民に「フードバンクあしかが」から食品をお渡しすることで、相談の質の向上に寄与しています。全国フードバンク推進協議会に加盟し、食糧支援のプロジェクトにも参加しています。

②生活困窮者などの自立支援及び就労支援事業

足利市の生活相談担当各課、民生委員、主任児童委員、地域包括支援センターや足利市社会福祉協議会と連携し、食品支援を核として、相談につながりやすい体制づくりに寄与しています。

③被災者に対する食糧・生活物資等の支援事業

被災地への物資支援に協力しています。

発災時に全国のフードバンクから支援を受けられるよう活動しており、足利市災害ボランティアセンター運営訓練にも参加しています。また、発災時に孤立が予想される中山間

地域での食品提供計画を進めています。災害ケースマネジメントにおいても、関係各所との連携を活用した仕組みづくりを計画中です。

★ 私たちが提供できること

①コーディネート

多様化する社会課題に取り組むためには、みんなの力が必要です。NPO・行政・企業など、それぞれが持つ強みを生かした重層的な動きとなるようにコーディネートすることを得意としています。例えば企業から食品寄贈のお申し出があった際に、子どもたちの食育体験イベントを企画しました。企業の広報誌にも大きく取り上げていただき、子どもたちも「体験格差」を解消でき、まさに「三方よし」のイベントとなりました。お悩みに取り組みながら、想像以上の結果を得られたと喜んでいただきました。

②ネットワークづくり

つながりの再現性を高めるためにはネットワークづくりが欠かせません。私たちは事業を展開する中で様々な人たちと協力しています。そうした、実際に顔を合わせ、言葉を交わし、課題を共有する私たちの活動から、ネットワークを作る基礎ができました。人と人、企業と企業、企業と地域を結ぶネットワークを作ることができます。

③教育・研修

困窮者支援や食糧問題、SDGsに関することなどの講演をしています。教育活動や研修のお手伝いができます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

私たちは食品を核として、企業と地域をつなぐコーディネートを得意としています。特に中小企業は地域貢献の専任担当者がいないことが多いため、地域に貢献したいと思っても、なかなかその一歩を踏み出すことが難しいのではないのでしょうか。

私たちと一緒に、貧困や災害などの社会課題に取り組みながら、社会も企業も良くなっていきましょう。地域の質を高め、企業と地域の関係を良くするために、あらゆる団体・企業と協力していきたいです。



認定NPO法人蔵の街たんぽぽの会

理事長 大木洋
住所 〒328-0073 栃木県栃木市小平町6-11
電話 0282-24-9833
会員数 正会員94名 賛助会員28名
法人設立年 2002年 認定 2018年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000102>

メールアドレス tanpopo@cc9.ne.jp

ホームページ <https://www.k-tanpopo.org>

★ 設立の趣旨

1982年から活動を始め、「障がいの有無にかかわらず、誰もが羽ばたける場を創る」ことを念頭に、「げんきとほこり」を合言葉に、人と人が支え合う地域づくりを目指しています。

私たちは、障がいのある子どもや大人、高齢者など、様々な人々が互いのハンディにとらわれず交流し、楽しみながら自立と自己実現を目指しています。また、地域の子育て支援や環境整備を通じて、人と人が支え合う地域社会の実現に寄与することを目的としています。

★ 事業の内容等

①とちぎおもちゃ図書館・子育て支援センターたんぽぽ

約30年前、障がいのある子どもを持つ親の会を中心に始まった「とちぎおもちゃ図書館」。現在では、500種類以上のおもちゃを自由に使える場として、子どもから高齢者まで世代を超えて交流できる場所となっています。おしゃべりや情報交換を楽しみながら、「おもちゃ」を通じて地域の人々と触れ合っています。2020年4月からは、栃木市の「子育て支援センター」としての機能も担い、地域の子育てをサポートしています。

②地域活動支援センター オープンハウスたんぽぽ

地域に開かれた地域活動支援センターです。一人ひとりに誠実に向き合い、社会の一員として、働く喜びを感じながら豊かに自立ができることを目標にしています。(栃木市委託事業)

③子どもの居場所事業 こどもの部屋たんぽぽ

「子どもの居場所」とは、地域にあるもうひとつの“家”のような存在です。放課後に安心して過ごせる、自分の家のような場所として、子どもたちの心のよりどころとなっています。(栃木市委託事業)

★ 私たちに提供できること

①交流できる場づくり

障がい児・障がい者・高齢者など様々な人がお互いのハンディにかかわらず交流できる場を提供しています。その経験を活かして、交流の場や場所づくりのノウハウを提供できます。

②おもちゃの無料貸出

おもちゃの無料貸出をしています。「とちぎおもちゃ図書館」で、色々なおもちゃに触れる機会を作ること、子どもの豊かな感性を育み、親子の触れ合いの場をつくりませんか。

③地域の各種イベントへの参加

企業や団体などが実施する地域のイベントやフェスに参加できます。子育て支援では遊び場を提供し、「オープンハウスたんぽぽ」では創作活動で制作したグッズなどの物販などを行っています。

④寄付品の受け入れと提供

企業や団体などからの寄付品を受け入れできます。例えば、フードバンク活動をしている団体と協働し、企業や農家などから寄付された野菜や食料品などを受け入れ、「こどもの部屋たんぽぽ」で活用したり、地域の子ども食堂への提供に協力しています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

「オープンハウスたんぽぽ」では就労を目指す方や、半日就業後に通所する方もいます。就職への足がかりとして、企業での職場体験を受け入れていただくと大変ありがたく思います。企業からのボランティア受け入れや、利用者の職場体験を通じて、少しずつ相互に理解を深めて距離を縮めていけたらと考えています。

また、利用者の得意分野を活かしたオリジナル商品の開発にも力を入れていますので、企業や他団体と連携して、商品の開発・販売へとつなげていければと思います。



認定NPO法人まごの手

理事長 小暮悦子
住所 〒327-0314 栃木県佐野市新吉水町375
電話 0283-85-8720
会員数 正会員10名 賛助会員105名 7団体
法人設立年 2005年 認定 2015年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000256>

メールアドレス npomagonote@marble.ocn.ne.jp

ホームページ <https://www.npomagonote.com/>

★ 設立の趣旨

2001年から活動を始め、公的な福祉制度によらない地域住民の助け合い活動を通して、「近隣の人々がお互いに助け合う思いを培い、安心して暮らせる地域社会づくり」を目的としています。

★ 事業の内容等

①地域住民の生活援助

病院・買い物の付き添い、買い物代行などを行っています。まごの手独自の介護保険制度外の在宅福祉サービスです。

②福祉有償運送、移送サービス

通院・外出の送迎など、単独では公共交通機関の利用が困難な人を対象としたサービスです。

③地域の居場所づくり

ふれあいハウス「たんとんとん」を運営しています。地域の人が気軽に寄れる、会員制の高齢者の居場所です。

④コンサート・地域交流会・みんなの居場所「とんとんとん」

会員や地域の人との触れ合い・交流、学びあいの輪を広げるイベントの開催や、地域のほっとできるみんなの居場所「とんとんとん」を運営しています。地域とまごの手を結ぶ活動です。

⑤他団体との連携及び交流

子ども支援団体「ちょこっと」(子どもの居場所・子ども食堂などを運営)への協力及び協働事業を行っています。「ちょこっと」の活動会場として場を提供したり、イベントや講習会など、共に事業を企画・運営しています。

★ 私たちが提供できること

①多世代が集う居場所

ふれあいハウス「たんとんとん」では、多くのボランティアが長く活躍しています。ミニイベントの講師として、佐野の民話と歌や、高齢者向け折り紙教室を開いてくださる方もいらっしゃいます。その他、子ども支援団体「ちょこっと」と連携することで、赤ちゃんから高齢の方までが集う場を提供できるようになりました。多世代の人が集まる居場所があります。

②地域との連携による情報発信

情報発信に力を入れています。とちぎ福祉ネット、佐野市社会福祉協議会、佐野市民病院の地域包括支援センターとも密に連絡を取り合いながら、まごの手の広報や各主催講座への参加にご協力いただいています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①地域の居場所づくりを行う中での課題として、食の問題があります。一人暮らしの高齢者に対して、安く昼食の提供ができたり、持ち帰りのお惣菜を用意できるような体制づくりをしたいと考えています。

現在の居場所事業では、食事の提供を試みっていますが、ボランティアの力が必要です。食事の提供に協力いただくと助かります。

②今後は企業とも連携し、定年を控えた企業の従業員を対象に、定年後の日常にボランティア活動を取り入れ、地域に貢献することの意義と価値を考える講座などを開きたいと考えています。定年後の生活を考えるきっかけをつくり、「お互いさま」の心で、もうひとつの居場所をつくってみませんか。



NPO法人CCV

理事長 福田由美
住所 〒322-0044 栃木県鹿沼市鳥居跡町1420-11
電話 0289-74-7070
会員数 正会員15名 賛助会員71名
法人設立年 2009年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000461>

メールアドレス creative_c_a@yahoo.co.jp

ホームページ <https://www.ccv-npo.jp/>

Instagram



X



★ 設立の趣旨

一人ひとりの個性を大切に、多くの人々と手を結び、心豊かに安心して生活できる地域社会をつくりまします。コミュニケーションを大切に、やりがいを持って自主的に働ける職場をつくりまします。発達障害の特性を理解し、エビデンスのある専門性の高いサービスを提供します。法人の持続的発展のために経営の安定を目指します。

★ 事業の内容等

①地域連携事業「うわのビレッジ・あまやの舎」「KANUMAISM」

地域の皆様と共に様々な活動を展開しております。企業とのコラボレーション事業もたくさんあります。

②フリースクールCCV学園

一人ひとりの個性を生かした学びのプログラムと一緒に考える小学生・中学生のフリースクール、働きながら3年で高校卒業資格が取得できる高校生のフリースクールです。

③大人のフリースクール

高校卒業後の学びを創造するフリースクールです。

④あおぞらプラン

免許を取得することに困難さを持つ方のための教習プログラム、鹿沼自動車教習所「つばさプラン」による運転免許取得を全面的にサポートするプログラムです。

⑤CCV大学

CCV大学の目指すところは「異年齢」「異文化」の多様な交流から新しい価値を発見することです。

⑥障害福祉サービス

「できる！」を仲間と楽しみながら、本人の特性に合った作業に取り組んでいただきます。

★ 私たちが提供できること

①人材不足への対応

企業の人手不足に対応できる、短時間勤務やルーティン業務に適した人材の提供が可能です。

②復職支援プログラム

従業員の中に、メンタル不調からの復職希望者などいらっしゃいませんか？
復帰までの訓練プログラムを提供できます。

③対人コミュニケーション支援ワーク

コミュニケーションがちょっと気になる従業員はいらっしゃいませんか？
本人の特性を活かした、対人コミュニケーションに関するワークを提供できます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①社会貢献活動やCSRの一環として、企業での職場体験・研修機会を設けていただけませんか？学校では学べない教育プログラムを企業とNPOの新しい協働モデルで作らしましょう。

②地域資源を活かしたSDGs型事業として、鹿沼産ヒノキを活用したアロマ商品(オイル・芳香蒸留水)の開発・販売を進めています。今後は、生産に係る機材(チッパー・蒸留器など)の充実・販売協力などについて一緒に活動していきましょう。

③福祉的就労や復職支援の場としての作業環境づくり、商品製造プロセスへの参画も歓迎です。

上記のような活動を通じ、持続可能な地域社会の実現をともに目指していきましょう。



NPO法人はばたき

理事長 広瀬浩
住所 〒321-1272 栃木県日光市今市本町16-9
電話 0288-21-3365
会員数 正会員30名 賛助会員40名
法人設立年 2003年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000156>

メールアドレス habataki@ec6.technowave.ne.jp

ホームページ <https://www.bbweb-arena.com/users/habataki/index.html>

Facebook



★ 設立の趣旨

身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者に対する就労援助と福祉関連知識の普及などを行い、その社会参加の促進と地域福祉活動の向上を目指しています。

★ 事業の内容等

①就労に向けた作業訓練

取引先企業協力のもと、安定した作業量を確保しています。

②就労に関する相談事業

当事業所利用者以外からの相談についても、多くの機関との連携を密に行い、対応しています。

③福祉施設への作業受注に関する協力事業

はばたきでは、障がい者の厳しい就労状況と賃金ニーズに応えるため、社会資源の不足という課題に取り組み、作業訓練や福祉施設への受注援助を行っています。日光市、日光市社会福祉協議会、企業からの作業を受注しています。

④福祉関係の知識の普及事業

毎年定期的に実施している地域交流会やおおぞら(カフェ)・ふらっと(居場所)で、はばたきイベントを開催しています。

⑤他団体との交流事業

ボランティア市民活動フェスタに実行委員やマルシェへの出店などで参加しています。

⑥地域活動支援センター事業

「日光市地域活動支援センターふらっと」は障がいのある方の居場所として利用されています。

★ 私たちが提供できること

①地域とつながるイベントの開催

地域とのつながりを持てるよう、コミュニティカフェおおぞらで月1回イベントを開催しています。近隣子ども達や住民の方、企業の方もCSRの一環として参加いただいております。また、今市中学校と連携し、同校生徒や当法人利用者が製作した絵画の展示会を春・夏・冬の年3回開催していますので、お気軽にお立ち寄りください。

②室内作業

建築資材や電子機器などの企業、行政、団体などからの受注実績があります。障がいがある方の障がい特性に合わせた工夫をしています。

③施設外就労

企業での構内作業や館内清掃・緑地管理などでの作業をお受けできます。

共同受注システム※や個別受注などで、地域の企業複数社と連携し受注を承っております。※日光市内にある「障がい者就労支援事業所」の営業や受注の窓口を一本化してコーディネートする仕組みです。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

今、実施している事業の継続を第一に考えています。そのためには協力いただける方、事業所やボランティアの仲間を増やしていきたいと思っています。企業の有する経験や知識、企業の特徴を活かしたイベントや事業などを協働したいと思います。

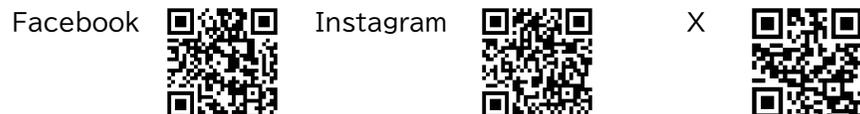


特例認定NPO法人そらいろコアラ

共同代表理事 増田卓哉 鳥飼蓬子
住所 〒323-0802 栃木県小山市大字東山田23-18
電話 090-3697-2532
会員数 正会員11名 賛助会員78名 5団体
法人設立年 2020年 特例認定 2023年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)
<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000861>

メールアドレス sora.iro.koala.npo@gmail.com
ホームページ <https://npo-sorairokoala.jimdofree.com/>



★ 設立の趣旨

子どもと家族への包括的・長期的な支援を通じて、妊娠・育児の孤立を防ぎ、貧困や不適切な養育から子どもたちを守り、安全な環境の中で健全な成長と自立を促します。誰もが健康で、安全に、安心して生活できる地域づくりに寄与します。

★ 事業の内容等

①妊娠・出産・子育ての無料LINE相談窓口「コアLINE」

夜間・土日を含む365日、匿名・無料で、助産師・看護師・医師・保育士・社会福祉士などの相談員チームが、妊娠・出産・子育てに関する不安や相談にお答えします。自治体や医療機関、専門機関とも連携し、適切な資源や支援につなげます。

②妊産婦さんと赤ちゃん、子どもと親の居場所「そらいろポケット」

妊産婦さんがほっと一息つける居場所「そらいろポケット」を運営。育児相談に応じるほか、育児用品など必要な物資の提供や、自宅訪問も行っています。また、居場所を必要とする子どもたちに対して、食事や遊び、学習、入浴のサポートも実施しています。地域子ども食堂「コアラ食堂」や、季節ごとの体験イベントも運営しています。

★ 私たちが提供できること

①妊娠・出産・子育ての不安に寄り添うサポート

企業や団体などで働く妊産婦や子育て世代の方々が抱える不安や悩みに寄り添い、サポートできます。LINEでの相談や居場所の提供を通じて、妊娠・出産・子育てに関するさまざまなご相談を受け付けています。

②活動ノウハウの共有

居場所づくりやLINE相談に関心のある方と、一緒に活動したり、運営ノウハウなどを共有することができます。

③包括的性教育の実施と講師派遣

活動の中で寄せられる声をもとに、包括的性教育の実施や、これに関する講師派遣を行っています。

④妊娠・子育て家庭のニーズ発信

妊娠・子育てに関するニーズ調査や日々の活動から得られる知見やニーズの発信・提言を行います。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみよう

体験イベントや子ども食堂、シンポジウム、寄付マルシェなどのチャリティイベントの共同開催に取り組みたいと思っています。

日々の活動や、IT活用、組織体制の整備、イベント運営などにおいても、プロボノ(無償の専門支援)・ボランティアを受け入れています。加えて、法人の福利厚生プログラムの一環として、妊娠・出産・育児に関するLINE相談などの仕組みをご提案することも可能です。

子育てや子ども支援は、次世代を育てて地域を再生するまちづくりにつながる支援です。各地域で「そらいろコアラ」の活動の輪を広げていきたいと思っていますので、ぜひお力添えをお願いいたします。



NPO法人みらい

理事長 清野恵美子
住所 〒329-0111 栃木県下都賀郡野木町大字丸林371-12
電話 0280-57-2673
会員数 正会員37名
法人設立年 2002年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)
<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000115>

メールアドレス info@npomirai.or.jp
ホームページ <http://npomirai.or.jp/>

★ 設立の趣旨

みらいでは、心の悩みを抱える方はもちろん、その病気と障がいをお持ちの方が、地域や実社会において「一人でも生きていけるように」と願い、隣人とその家族が協力しながら総合支援を行っています。

★ 事業の内容等

①相談支援
心の悩みやその病気でお悩みの方、又は障がいの有無についてのお問い合わせなど、医療機関に受診される前と後に関わらず相談できる場所です。

②暮らしの支援
心の悩みや病気を抱え部屋に籠りがちな方、長い入院経験によりハンディを背負う方などへ、まず規則正しい生活へと導くお手伝いをします。暮らしの知恵を磨く「how toプログラム」の実施や外出演習も行っています。

③働く支援
体力・集中力が高まった方や自信の着いた方には職業体験と、その継続支援を行っています。実社会から求められる人材育成を目指しています。
当法人が提供・運営するサービス(飲食店の営業全般・公園などや公共施設の営繕・ポストティング作業)、モノ(手芸品・eco石鹸)を供給する仕事です。

★ 私たちが提供できること

①社会参加を目指す就労支援
就労継続支援B型事業所として、心の病気と障がいを併せ持つ方を対象に、職業体験と生産活動に従事していただく中で、一層の社会参加と社会貢献を目指しています。企業への橋渡しや紹介なども随時行っています。

②自主事業の運営による実践の場
事業の一環として、「カレーハウス」や「花れい工房」を運営しています。実際の業務に関することで、働く力を育む実践の場を提供しています。企業への橋渡しの第一歩です。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①企業への就労実績を活かし、障がい者雇用をした際の相談対応や就労後のフォローアップなど、企業と障がい者のつなぎ役を担い、継続的なサポートを考えています。

②企業で働く経験を積むための実習生受け入れについてもご協力をお願いします。



NPO法人とちぎ障害者労働自立センターゆめ

理事長 佐藤賢二
住所 〒329-1231 栃木県塩谷郡高根沢町宝石台1-1-14
電話 028-675-7771
会員数 正会員27名
法人設立年 1999年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)
<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000014>

メールアドレス npo.dream@nifty.com

★ 設立の趣旨

障がい者の支援事業をはじめ、高齢者の介護や子育て支援のほか、障がい者に関する地域福祉を推進しています。また、市民活動への連携や理解促進などを行うことによって、誰にでもやさしく、安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与します。

★ 事業の内容等

- ①障がい者の労働の場づくりを目的とした清涼飲料水などの販売活動
1999年より清涼飲料水メーカーと連携し、自動販売機の補充作業を障がい者団体に直接依頼することで、障がい者へ働く場を提供しています。また、就労継続支援B型事業所を運営し、障がい者に働く場と居場所の両面での支援を行っています。
- ②障がい者の労働機会づくりを資金的に支援する活動
清涼飲料水の販売において、1本あたり2円を原資とし、「障害者労働機会づくり支援基金」として拠出し、障がい者の就労支援活動を資金面から支援しています。
- ③障がい児相談支援
高根沢町からの委託を受け、「高根沢町障害児者生活支援センターすまいる」として、障がい児・障がい者及びそのご家族を対象とした相談支援業務を行っています。
- ④就労継続支援B型事業所「抛り所えん」の運営
福祉的就労の場として、就労継続支援B型事業所「抛り所えん」を整備・運営し、障がいのある方の働く機会を提供しています。

★ 私たちが提供できること

- ①企業や学校などへの自動販売機の設置
社会貢献型の自動販売機を設置できます。1本あたり2円が寄付される社会貢献型の自動販売機を企業や公的施設、学校などに設置しています。宇都宮市の特別支援学校では、自動販売機の補充を流通の授業として取り入れ、当団体の職員がゲストティーチャーとして納品管理や賞味期限管理、損益分岐点の考え方、コミュニケーションの指導を行っている事例もあります。
- ②CSR構築支援、市民活動団体のサポート
長年にわたり築いてきたネットワークとノウハウを活かし、地域での協働事業やイベントの実施にあたり、他団体との橋渡し役を担います。企業のCSRの構築や市民活動の推進もサポートしています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

企業では、精神的なストレスにより、うつになる方が増えていると聞きます。職場と家庭だけでなく、私たちのような事業所が第三の居場所となることで、来所される方のストレスや不安などが少しでも軽減され、気持ちを受容する場となることが理想です。見守りなどを通して、少しずつ社会復帰に近づけるような取組みを、企業と連携しながら進めていければと思います。
地域の企業や学校など、様々な団体が自然とつながり、一緒に活動できる場をつくる、そんな地域のセーフティネットを築いていくことが私たちの活動の夢です。



文化・芸術・スポーツ・国際

認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・栃木

会長 高久和男
住所 〒320-0046 栃木県宇都宮市西一の沢町8-22(栃木県林業会館内)
電話 028-612-1540
会員数 正会員43名 賛助会員185名
法人設立年 2010年 認定 2024年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000489>

メールアドレス son-tochigi@bc.wakwak.com

ホームページ <https://son-tochigi.jimdofree.com/>

Facebook



★ 設立の趣旨

スペシャルオリンピックス(以下、SO)は、知的障がいのある人たちに、様々なスポーツトレーニングと、その成果の発表の場である競技会を、年間を通じて提供している国際的なスポーツ組織です。私たちスペシャルオリンピックス日本・栃木(以下、SON・栃木)は、日常的なスポーツトレーニングや定期的な競技会を実施するとともに、SOの活動を広く知っていただくための広報活動など、様々な取り組みを行っています。

★ 事業の内容等

知的障がい者のスポーツ振興のためのトレーニングプログラムの提供、競技会、研修会を開催しています。

★ 私たちが提供できること

日常的なスポーツトレーニングや定期的な競技会を実施するとともに、SON・栃木の活動を広く知っていただくための広報活動など、様々な取り組みを行っています。これらの活動で培ったノウハウを提供することができます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

- ①現在、栃木県内では約100名の方にボランティアとして協力いただいています。まずは身近にできることから大丈夫。自分らしいスタイルで、SON・栃木のボランティアに参加してみませんか？
- ②交流スポーツを企業の参加も得て開催することで、企業との交流、連携の強化につなげたいです。
- ③SON・栃木の知名度アップに向け、一般県民の方々との交流を強化する場を設けるに際し、企業のホームページや社内報を通じた広報、周知をお願いできればと思います。
- ④企業の方と一緒に宮まつりなどのイベントに参加したり、共同でイベントを企画・実施したりすることで、SON・栃木への理解を深めていただく場としたいと考えています。



NPO法人岩船山クリフステージ

理事長 高橋隆
住所 〒329-4307 栃木市岩舟町静5133-1(岩舟町商工会館内)クリフ事務局
電話 0282-55-6988
会員数 正会員68名
法人設立年 2004年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000178>

メールアドレス cliff-office@cliff-stage.com

ホームページ <http://www.cliff-stage.com/>

Facebook



Instagram



X



★ 設立の趣旨

ふるさとの山・岩船山の採石場跡地を文化の発信基地と位置付けた音楽文化の振興及び地域の活性化などを目指した活動を行い、ふるさとの自然と人々の輪を一体にすることにより、明るい豊かな地域造りを目指していきます。

★ 事業の内容等

- ①岩船山採石場跡地を活用した野外コンサート事業
岩船山採石場跡地の崖の音響効果を利用し、「クリフ※ステージ」として野外コンサートを1999年から開催しています。
※Cliff(断崖)
- ②岩船山の自然環境を保全するための周辺歩道整備、美化活動
- ③栃木市及び周辺地域の活性化
地域の街路灯にバナーを取り付けPRしたり、商店街のイメージアップを図ります。

★ 私たちが提供できること

- ①音響効果を活かした野外イベントの開催
岩船山採石場跡地の崖の音響効果を活かし、「クリフステージ」として野外コンサートやイベントなどを開催することができます。
イベント開催時には、スタッフの派遣が可能です。
- ②イベント企画・会場利用のご相談受付
アーティストの招致など、イベント企画に関するご相談にも対応いたします。
会場の貸し出しについても、お気軽にご相談ください。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

地域の活性化や音楽文化の振興のため、イベントや多様なフェスを企業や団体と連携して開催していきたいと考えています。

現在は、旅行会社とのタイアップで爆破体験で撮影を行う企画があります。岩船山採石場跡地は、野外でありながら音響やライトアップも魅力のひとつです。例えば、車好きの方向けのイベントで車を展示したり、コスプレ好きな方たちが集まるイベントを開催し、撮影会をしたりすることも可能です。

企業や団体と共催し、地域や商店街の活性化を図っていければと思います。



NPO法人山本有三記念会

会長 大塚幸一
住所 〒328-0015 栃木県栃木市万町5-3
電話 0282-22-8805
会員数 正会員146名
法人設立年 2003年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000127>

メールアドレス robou@yuzo-kinenkai.jp

ホームページ <https://www.yuzo-kinenkai.jp>(記念館)

★ 設立の趣旨

山本有三の生涯にわたる業績をたたえ、その精神を人づくりに活かし、文化の薫り高いまちづくりに貢献することを目的とします。

★ 事業の内容等

①山本有三ふるさと記念館の運営

入館料:大人200円・中学生以下無料/月曜休館(祝日開館・翌日休館)

②有三祭、——忌(有三忌)

有三祭6月15日(無料開放)・——忌1月11日(文学忌)

③子ども朗読フェスティバル・路傍の石作品等コンクール

④読書教室・文学講座・出前講座などの開催

⑤啓発紙の発行(年2回)

⑥資料収集

随時収集/故永野賢氏の山本有三関係資料の整理、研究など

⑦路傍の石文学賞、路傍の石俳句大会

路傍の石子ども俳句大会の開催(路傍の石文学賞は現在休止中)

⑧図書館の管理運営

栃木市図書館6館の指定管理者(2007年～)

★ 私たちが提供できること

①読書を通じた青少年の健全育成

青少年の健全育成を目指して、読書の推進による子ども朗読フェスティバルや路傍の石作品等コンクール、読書教室など、発表の機会を作っています。

山本有三が残した作品などを通して、有三が伝えなかったその精神を明らかにし、地域文化や街の活性化の向上に役立てたいです。

②図書館運営を通じた市民との協働

公共図書館の指定管理者として17年以上の実績を通して、他の自治体でもNPO法人しかできない市民との協働を目指した運営の提供、ボランティアの育成と参加募集をしています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

山本有三と国の登録有形文化財を活かした観光ツアーなどのほか、山本有三とその作品をモチーフとした商品開発を行いたいと思います。



NPO法人アーシャ=アジアの農民と歩む会

代表理事 牧野一穂
住所 〒329-2703 栃木県那須塩原市槻沢83-17
電話 0287-47-7840
会員数 正会員50名 1団体
法人設立年 2004年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000189>

メールアドレス info.jp@ashaasia.org

ホームページ <http://ashaasia.org/>

Facebook



★ 設立の趣旨

自由化経済の負の側面が顕著なアジア農村の課題に対し、栃木を拠点とする本会は、経験豊富な発起人たちの知見を活かし、持続可能な農業の普及、農村女性の地位向上、小規模農民の自立を市民参加型で支援します。国際協力と世界平和の推進に貢献することを目指しています。

★ 事業の内容等

①農村開発・農業開発支援

インドにおける小規模・貧困農民が健全で、豊かなくらしを実現できるよう、農作物の生産、食品加工・販売に携わる農業組合の運営支援を行っています。持続可能な有機農業促進、無添加の農産加工・販売を軸に農民の自立と農村の持続可能な発展を目指します。

②人材育成支援

農村リーダーのための持続可能な農業・農村開発コースや、水稻栽培農家のための稲作セミナーを実施しています。

農村女性の収入向上のための事業として、基礎裁縫クラス研修やフェアトレードで扱う手芸品のプロフェッショナル研修コースを実施しています。

③調査研究、啓発・広報

ワークキャンプ・インターンシップ研修プログラム・スタディツアーの開催や会報の発行をしています。

日本国内では、学生・市民のためのセミナーを実施して活動紹介を行っています。

★ 私たちが提供できること

①モリンガ関連商品のフェアトレード

北インドで有機栽培したモリンガパウダーや関連商品のフェアトレードを行うことができます。

②ハンディクラフト商品のフェアトレード

北インド農村女性の雇用促進のために、縫製技術のレベルアップを図ってきました。彼女たちが心を込めて縫製した服飾や手刺繍を施した布バッグやヘアアクセサリ、ペンケースなどのハンディクラフト商品などについてフェアトレードを行うことができます。

③伝統工芸を活かした服飾品の展開

インド綿の中でも伝統工芸とも言われるカディコットン(手紡ぎ糸を使った生地)やハンドブロックプリント生地を使ったヨガパンツ、スカート、エプロンなどの服飾品にもチャレンジしています。

④栄養食品の普及

現地では、農村栄養保健事業として、北インド原産で92種類以上の栄養成分や機能性成分豊かなモリンガ葉を使った健康料理や豆腐を摂り入れた食生活の普及を目指し、定期的に農村での啓発活動や市街地での試食販売会などを実施しています。日本でも、モリンガパウダーや生葉を使ったパンやカレー、デザートなどの栄養料理試食会を開催することができます。

⑤アジア農村の課題発信

アジアの農村の課題をお伝えすることができます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみよう

①フェアトレード商品を取り扱ってみませんか？

②次世代のスーパーフードと呼ばれる92種類以上の栄養成分・機能性成分を含むモリンガパウダーの試飲・試食会など一緒にいかがですか？



NPO法人MCAA

理事長 小貫善二
住所 〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町益子706-2(MCAA6gallery)
電話 0285-81-7121
会員数 正会員10名 賛助会員39名
法人設立年 2011年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000546>

メールアドレス mcaa-director@mcaa-web.net



★ 設立の趣旨

東日本大震災をきっかけに設立したNPO法人です。
作家の作品発表の場の提供、割れた陶磁器の再利用「陶ジャリ」、国内外との文化交流事業を行っています。

★ 事業の内容等

- ①益子焼作家の創作環境整備、ネットワークづくり
ギャラリーでの常設展示や春秋の陶器市への参加など、窯業従事者をはじめとする、やきものの町・益子を取り巻く人々に対して、作家のネットワークづくりをしています。
- ②MCAA6galleryの運営
作家の企画展などを行っています。
- ③災害支援
東日本大震災から続く災害に対し、支援を行っています。能登半島地震被災者への募金活動を行っています。
- ④国内外交流事業
海外から作家を招へいし、ワークショップや交流会を開催しています。

★ 私たちが提供できること

益子陶器市への参加を通じてのチャリティセールと募金活動を行っています。
益子町観光協会と共催で作家や窯元から寄付いただいた作品を陶器市で販売し、売り上げを災害で被災された皆様に寄付しています。能登半島地震の時には、被災した珠洲焼と輪島塗の工芸家へ寄付を行っています。被災地や被災された工芸家へ寄付したい際に協力できます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみよう

年2回の益子陶器市では被災地に向けた募金活動を実施することがあります。
益子陶器市へいらした際には、MCAA6ギャラリーにもお立ち寄りください。
募金活動や陶器市での協働プロジェクトを実施してみませんか。



認定NPO法人もうひとつの美術館

代表理事 梶原紀子
住所 〒324-0618 栃木県那須郡那珂川町小口1181-2
電話 0287-92-8088
会員数 正会員57名 賛助会員36名 寄付会員16名
法人設立年 2001年 認定 2013年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000084>

メールアドレス mob@nactv.ne.jp

ホームページ <https://www.mobmuseum.org/>

Facebook



Instagram



X



★ 設立の趣旨

「もうひとつの美術館」は、栃木県那珂川町の里山に建つ明治大正の面影を残した旧小口小学校の校舎を再利用して2001年に開設された美術館です。ハンディキャップのある人たちの芸術活動をサポートしながら、「みんながアーティスト、全てはアート」をコンセプトに、年齢、障がいの有無、専門家であるなしを超え、アートを核に地域・場所や領域をつないでいく活動をしています。

★ 事業の内容等

- ①自主企画展示(年2～3回)にて、主に障がいのある人たちのアート作品を展示
- ②フォーラムやワークショップ(もうひとつのくらぶ)などの開催
- ③主に障がいのある人たちの作品を収集し、作品の貸し出しと出前美術館の開催
- ④創作活動の場の提供(展示棟、ワークショップ室、ギャラリーの貸し出し)
- ⑤会報「MB通信」の発行
- ⑥ミュージアムショップにて、全国の福祉事業所のグッズや関連書籍などの販売
- ⑦ギャラリー&カフェ「M+Cafe」の営業
- ⑧障がいのある人たちの創作活動の支援(2017年～とちぎアートサポートセンターTAM

を設置)

★ 私たちが提供できること

①出前美術館による作品紹介

栃木県内の公共施設に出向き、当館所蔵の作品を展示紹介するノウハウを有しています。次のような出前美術館を開催しています。「もうひとつの美術館 出前美術館」(2014年～2016年 栃木市栃木文化会館)、「旧青木家那須別邸にて ART369×もうひとつの美術館」(2019年 那須塩原市)

②出張ワークショップ

栃木県内の小学校・中学校や大学などへ伺い、次のような出張ワークショップを開催することができます。(宇都宮大学教育学部附属特別支援学校でのドローイングワークショップ(2017年)、益子特別支援学校、西原小学校特別支援学級(2018年)、獨協医科大学、塩谷郡特別支援学級、那須塩原市青年会議所(2019年))

③障がいのある人たちの作品紹介(二次利用)

栃木県内で創作活動をしている障がいのある人たちの作品を「とちぎ障害者プラン21」(2021年、2024年)、「栃木県障害者文化祭カレンダー」(2022年)で紹介しています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①栃木県内の小学校・中学校や企業へ伺い、当館所蔵の作品を展示紹介する出前美術館を開催したいです。

②栃木県内の企業を訪問しての出張ワークショップを開催したいです。

③栃木県内で創作活動をしている障がいのある人たちの作品を企業に紹介し、二次利用につなげます。

他県(埼玉県)での障がいのある人たちの作品をパッケージデザインしたことはありますが、栃木県内の民間企業との協働は残念ながらまだないので、是非とも実現させたいと思います。



環境・まちづくり・防災

NPO法人グラウンドワーク西鬼怒

理事長 水谷正一
住所 〒329-1102 栃木県宇都宮市白沢町2411
電話 028-673-9766
会員数 正会員24名 賛助会員35名
法人設立年 2005年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000248>

メールアドレス nisikinu@snow.ucatv.ne.jp

ホームページ <https://gw-nishikinu.jimdofree.com/>

★ 設立の趣旨

グラウンドワーク西鬼怒は、子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象に、西鬼怒川地区グラウンドワーク活動センターなどを拠点とした環境に関する教育・研究・調査及び施設管理事業を行うとともに、住民・企業・行政が一体となった地域の環境改善活動や都市と農村の交流に関する事業を行い、地域の良好な自然環境の保全及び活性化に寄与します。

★ 事業の内容等

①自然環境保全事業

生態系保全水路の草刈りや、谷川上流保全地の草刈りなどの維持管理事業を実施しています。

②体験学習等による環境教育事業

田んぼの学校や探鳥会を実施しています。

③自然環境にかかわる調査・研究

フクロウ営巣ネットワークプロジェクトや、西鬼怒川地区の動植物や水路に自生する水草について、種の調査を実施しています。

④都市と農村の交流事業の企画及び支援

農業体験、灯籠流し、もちつきを実施しています。

⑤西鬼怒川地区グラウンドワーク活動センター及び西鬼怒公園の維持管理

★ 私たちが提供できること

①自然と農にふれる体験

当会の「田んぼの学校」では、米づくり、野菜づくり、花壇づくり、田んぼまわりの生きもの調査、源氏ボタルの鑑賞、しめ縄づくり、野鳥の観察、灯籠流し、どんど焼きなどを実施しており、体験の提供ができます。月に1回、「農と自然のめぐみ」に触れることができます。

②フクロウ営巣ネットワークの全国展開

フクロウ営巣ネットワークづくりでは栃木県から全国展開し、これまでに172か所でフクロウが産卵・繁殖しています。これらの活動で培ったノウハウを提供することができます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

農村地域の生態系の保全、再生を目的に巣箱によるフクロウの営巣環境の創出や、地域の自然環境・生物生息場の拠点として保全され谷川上流域に位置する保全地周辺のゴミ拾いなどを行っています。

企業の従業員の方々のご協力をお願いします。是非、ホームページよりご連絡ください。



NPO法人コムラボ

理事長 山田雅俊
住所 〒326-0053 栃木県足利市伊勢町3-4-8
電話 050-3635-0326
会員数 正会員12名
法人設立年 2010年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000509>

メールアドレス contact@com-labo.com
ホームページ <https://www.com-labo.com/>
<https://ashikaga.keizai.biz/>(足利経済新聞)
<https://machinote.com/>(マチノテ)

★ 設立の趣旨

『地域の新しい「やりたい」を「できる」に変える』

「足利は何もない、つまらない」、足利に住んでいる人々はこの言葉をよく口にします。けれど情報を発信する側になってみれば、足利には他の街にない誇れるもの、楽しいことがたくさんあることがわかります。

街をより良くしていくには、「ひと」の力が必要です。「足利には何もない」から「足利に住んで良かった」と変化する市民が1人でも多く増えることで起こる化学変化、地域の可能性を広げたいと思っています。

私たちコムラボは、地域の伝える力を広げていくことで「ちいき」と「ひと」を結びつけ、これからの右肩下りの時代に大きな変化を起こす力が生まれるよう、そんな思いの下で活動を続けています。

★ 事業の内容等

①足利経済新聞

2018年より地域メディアとして、「地域の記録」を残すこと、地域で書く人を維持・育成することを目的に、足利エリアのローカルニュースをインターネットで情報配信しています。

②マチノテ

JR足利駅から徒歩3分の場所で、シェアオフィス「マチノテ」を運営しています。創業したい方に、場所の提供だけでなく創業アドバイスも行っています。

③地域の行政・市民団体との交流、連携、協力

学童保育を運営している団体、商店街や企業などにICT技術の提供を行い、バックオフィスの支援を行っています。

★ 私たちが提供できること

①社員研修・広報支援のライター講座

地域の企業に、新卒社員を対象としたライター講座(OFF-JT)を提供した実績があります。読み手に誤解がないよう正しく書く、発言の裏取りをする、事実の確認をするといったスキルは一般業務でも必要なことです。企業や店舗へプレスリリースの書き方講座も提供できます。例えば「取材してもらえないかもしれないプレスリリースの書き方講座」です。

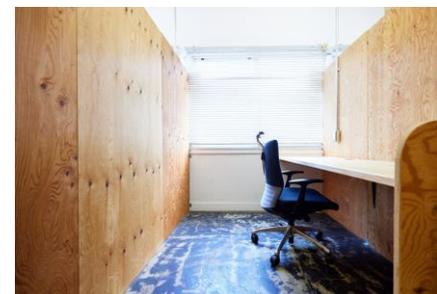
②IT環境整備支援

NPO法人や非営利団体向けに無料又は安価で提供されるGoogle Workspace、サイボウズ Kintoneの初期設定やレクチャーを提供した実績があります。また、Kintoneを基幹システムとした学童情報管理システムの構築と保守などを行った実績があります。これらを活かしてIT環境整備や情報セキュリティに関するアドバイスが提供できます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

地域の新しい「やりたい」を「できる」に変えていくために、情報発信(地域メディア=足利経済新聞)とハードウェア支援(シェアオフィス=マチノテ)の両面から支援を続けていきます。

コムラボは「新しいことをやりたい人」が好きです。新しいアクションや起業・創業をやりたいと考えるものの、周囲に理解されず支援も受けられない人たちに、必要だと感じてもらえる事業を展開しています。



NPO法人太平山南山麓友の会

理事長 藤野晴彦
住所 〒329-4405 栃木県栃木市太平町西山田1771-3(かかしの里内)
電話 0282-43-8288
会員数 正会員31名 賛助会員12名
法人設立年 2007年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000385>

メールアドレス kakashi-no-sato@cc9.ne.jp

ホームページ <https://www.cc9.ne.jp/~kakashi-no-sato/>

★ 設立の趣旨

栃木市太平山南山麓の自然を将来に残し、四季折々の美しい山麓、里山づくりを通して、来訪者を温かく迎えるまちづくりと地元経済の発展に寄与することを目的に、農業や工業技術、多彩な趣味を活かして活動しています。

★ 事業の内容等

①太平山南山麓周辺の緑化美化活動

②農業収穫体験

当地域の七不思議伝説にちなんで、7つの農作物のオーナー制度「おおひらの七富賜技(ななふしぎ)体験」を実施し、都市住民との交流や南山麓のトレッキングガイド、山の日記念イベント、ぶどう祭り、ぶどうの観光案内・PR、緑化美化活動などの多くのイベントを開催しています。

③太平山系トレッキング

ハイキングコースの整備のほか、毎年、春と秋に「太平山系トレッキングイベント」を開催しています。

④グリーンツーリズム

2015年よりワイン用のぶどう苗の植栽を始め、2018年に「一般酒類小売業」の免許を取得し、「山雫ワイン」販売を開始しました。太平山南山麓のぶどう畑に流れ来る山雫で育ったぶどう100%の「山雫ワイン」を拡販展開しています。

⑤かかしの里の管理運営

かかしの里では、バーベキュー施設やローラースライダーのほか、野球場・テニスコートなどのスポーツ施設、野外ステージなどもあり、子どもも大人も楽しめます。

★ 私たちが提供できること

①農産物直売所の運営

旬の野菜・ワイン・ブドウジュース・ジャムなどの販売、ワイン卸売を地元のまちづくり交流センターや栃木市アンテナショップで行っています。直売所運営のノウハウを提供できます。

②各イベントへ出店

栃木市認定まちづくり実働組織や、地元の商店街と連携し、農産物販売イベントへ出店する協働の実績があります。

③トレッキング

ハイキングコース整備を行っています。山の日(毎年8月11日)には晃石山登頂記念木札の配布を行っています。ハイキングコースの整備は栃木市観光振興課と連携して行っています。また、トレッキングガイドができます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①観光ぶどう園との連携や、ぶどう団地のPRにご協力ください。

②かかしの里付近へのワイナリー設立にご協力ください。



NPO法人渡良瀬エコビレッジ

理事長 町田佳子
住所 〒323-1101 栃木県栃木市藤岡町大前1729-1
電話 0282-62-2677
会員数 正会員10名 賛助会員2名 3団体
法人設立年 2007年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000371>

メールアドレス watarase-ecovillage@bz03.plala.or.jp
ブログ(CANPAN) <https://blog.canpan.info/watarase/>

Instagram



★ 設立の趣旨

古くから営まれてきた資源を大切にす循環型の暮らしを「やまずめぐる」と呼び、改めてその価値を見直しています。自然環境の保護や、里山の保全・再生・活用に向けた事業を展開しています。

健全なふるさとづくりを通じて、市民生活に不可欠な元気と活力を届ける活動を行い、公益の増進に寄与することを目的としています。

★ 事業の内容等

①循環型の暮らしの実践

衣・食・住をテーマに、40年以上にわたり、農薬や化学肥料に頼らない農業を土台とした、自然環境に適した循環型の暮らしの大切さを伝えています。

②自然に負荷をかけない農業に関する相談事業

無農薬・無化学肥料による和綿の栽培から収穫までを実施しています。「しあわせのコットンボール」として、2007年に多くの方々の協力のもと、日本で初めて無農薬の和綿から作られたTシャツが完成しました。現在も繊維・アパレルメーカーと連携し、栽培を継続しています。

③里山づくり

栃木市内にある里山の周辺環境整備や、ツリーハウスの設置を行い、「とちぎの元気な森づくり」の県民税事業の支援のもと、里山の保全・活用に取り組んでいます。

★ 私たちが提供できること

①農作業の体験型イベントの実施

循環型の農業を通じた持続可能な暮らしを学ぶための体験型イベントを企画開催できます。

②和綿の栽培体験を通じた社員研修

国内での栽培自給率がほぼ0%の和綿の継承に取り組み、繊維・アパレルメーカー3社と取引しながら、その栽培を守っています。企業の社員研修の一環として、和綿の栽培体験も実施しています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①体験型イベントの参加をきっかけに、皆様が循環型の暮らしに触れ、興味を持っていただけたら嬉しく思います。例年11月には収穫祭を開催し、無農薬のもち米を石臼でついて作る玄米餅や、旬の野菜のごはんなどを楽しみに参加される方も多くいらっしゃいます。

②和綿は、種まきから収穫、紡ぎまでを体験できます。和綿を通して、「衣」もまた地球の大切な資源であると感じられると思います。この場所には、「衣」は和綿、「食」は無農薬農産物、「住」はすべて土に還る材料を使って伝統工法で建てた家屋があります。衣・食・住を一体で体験できますので、企業の研修をはじめ、服飾を学ぶ学生、小学校・中学校の課外活動の学びの場として活用いただけたらと思います。興味のある方はぜひ一度お越しください。

③今後は、これまでに収穫した綿の在庫がありますので、小ロットで綿を製品化できる企業や団体などと連携し、例えば地元産和綿で作る赤ちゃん用のおくるみなど、オリジナル製品づくりにつなげていきたいと考えています。



NPO法人エコロジーオンライン

理事長 上岡裕
住所 〒327-0832 栃木県佐野市植上町1331-6
電話 0283-23-9758
会員数 正会員21名 企業会員7社
法人設立年 2000年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000038>

メールアドレス info@eco-online.org

ホームページ <https://www.eco-online.org/>

Facebook



Instagram



X



★ 設立の趣旨

一般の人々に対して、健全な市民生活に不可欠な環境情報を提供するとともに、芸術、国際交流を通じた持続可能な社会の実現を目指します。また、一人ひとりが自立的な健康管理ができるよう、その知識の普及に関する事業を行います。

★ 事業の内容等

- ①自然との触れ合いを通じた健康増進支援
生物多様性を守る取組みで整備した里山を活用して、健康増進活動を実践していきます。
- ②持続可能な社会づくり
世界のエフエムラジオと連携して、SDGsの情報の発信をしています。
- ③芸術活動を通じたまちづくり事業
医療現場と音楽レーベルの協力を得て、「音楽と認知症全国ネットワーク」を設立。音楽の力を活かした認知症ケアや予防に関する実践を全国の医療・介護関係者と共有・保存しています。
- ④途上国における環境改善事業
マダガスカルにおいて、エネルギー環境の改善を目的に、バイオガス施設の設置支援などの活動を行っています。
- ⑤里山再生活動
他団体と協働して里山の再生活動に取り組むとともに、日本産木材の活用促進を目的に、

能登ヒバを使った楽器づくりのプロジェクトを支援しています。

★ 私たちが提供できること

①気候変動を中心とした環境問題への取組み

気候変動などの環境問題はエコロジーオンラインの中核事業です。これまで、坂本龍一さんのラジオ番組などで気候変動について語り合い、情報発信をしてきました。2025年からRADIO BERRY(エフエム栃木)・宇都宮大学高橋若菜研究室と三者共同で「カーボンニュートラル ACTION!」を栃木から発信。温暖化にアジャストした取組みを、ラジオやインターネット、地域連携を通じて伝えていきます。企業等に対しては、気候変動対策や脱炭素に関する情報発信・企画協力など、環境分野の知見を活かした支援が可能です。

②企業・団体などの環境コミュニケーション支援

環境に関する情報を社会と共有し、理解と協力を促すことは、課題解決に欠かせない手段です。企業・団体の特性を活かした環境への取組み、環境コミュニケーションを提案し支援します。

③気候変動やSDGsに関する講演・執筆

環境やSDGsに関する知見を活かし、講演や執筆活動を通じて持続可能な社会づくりの意義や取り組み方を伝えています。自治体・企業など多彩な場で実績があります。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①当法人は、これまで環境破壊や地球温暖化の防止に取り組んできました。これからも企業や団体と連携しながら、森林再生、省エネルギー、再生可能エネルギー、生物多様性、里山再生、まちづくりなど、幅広いテーマでプロジェクトを展開していきたいと思えます。

環境保全の基金として始めた、全国の幼稚園・保育園に太陽光発電設備を寄贈する「そらべあ基金」は、当法人が発起人の一員として立ち上げに関わった成功事例です。

②代表の上岡裕は、認知症介護や高次脳機能障害の経験をきっかけに、東京大学熊谷研究室での当事者研究に携わっています。障がいのある方や働きづらさを抱える方と意見を交わしながら、誰もが働きやすい社会の実現に向けた提言を行っています。こうした提言を実践するため、現在は、障がいをもった人たちとAIでアニメを制作しています。

環境だけでなく福祉や国際協力など多様なSDGsの課題に、いろいろな主体と連携しながら、環境と生命を守る活動をさらに広げていきたいと思えます。



NPO法人足尾に緑を育てる会

会長 齊藤正三
住所 〒321-1523 栃木県日光市足尾町松原2-9
電話 0288-93-2180
会員数 正会員44名 賛助会員個人100名 13団体 活動会員70名
法人設立年 2002年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000099>

メールアドレス home@ashiomidori.com

ホームページ <https://ashiomidori.jimdoweb.com/>

★ 設立の趣旨

煙害で荒廃した足尾の山の緑化活動を通じて、水循環系を中心とした環境問題に取り組むとともに、渡良瀬川源流地域の問題を考え、自然環境の健全化並びに地域社会の伸展に貢献することを目的とします。

★ 事業の内容等

①植樹地の維持管理

栃木県、日光市などの行政、NPO法人、CSR活動を行う企業とのネットワークで、植樹地の維持管理を行っています。国土交通省関東地方整備局渡良瀬川河川事務所、栃木県、林野庁からの植樹委託による山腹工事・食害対策をしています。

②渡良瀬川源流域の緑化事業及び児童生徒の植樹活動への支援

これまで、延べ23万人以上の方に31万本以上の木を植えていただいています。栃木県と連携して植樹地基盤整備を行い、非鉄金属・産業機械メーカーの足尾事務所からは社有地提供を受けるなど、連携・協働をしています。

③足尾環境学習センターの管理運営

日光市の指定管理を受け、足尾の歴史や環境について学べるミニ博物館を運営しています。

④年間イベントの実施

春の植樹デー(4月、5月)は、参加者が年々増え、令和7年は約4,205本の苗木が植えられました。また、夏の草刈デー(7月)として苗木の周囲の除草や生育状況の観察などを行うほか、3月～11月の毎月第3土曜日・日曜日には雑草などの草抜きを中心とした作業デーも開催しています。

★ 私たちが提供できること

①植樹イベントスタッフの受け入れができます。

②環境学習としての植樹体験の提供
環境学習の一環として植樹体験の受け入れができます。

③CSR活動としての植樹
CSR活動としての植樹活動の受け入れができます。

④体験型環境学習と気候変動教育
足尾での体験型環境学習を通しての気候変動対策に関する教育の提供ができます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

体験型環境学習コンテンツの活用により、インバウンドも含めた観光資源の活用を一緒に考えてみませんか。



NPO法人クロスアクション

代表理事 高橋誠一
住所 〒321-0628 栃木県那須烏山市金井2-23-15
電話 090-3109-1784
会員数 正会員19名
法人設立年 2017年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000775>

メールアドレス crossaction.0523@gmail.com

Facebook



Instagram



★ 設立の趣旨

那須烏山市をはじめとする八溝地域での地域間交流や市内団体による企画開催などの事業を通して、地域内に住む人の郷土愛と観光客の地域への愛着を育むことによって社会参画意識を醸成し、市民主体の持続可能なまちづくりの推進に寄与することを目指しています。

★ 事業の内容等

①地域づくり団体や教育機関についての相談・支援

様々な市民団体のプロジェクト企画に寄り添い、協働を行っています。CrowLounge(クローラウンジ)では、市内で動き出した魅力ある活動にフォーカスし、地域づくりの関心層との交流機会を創出するとともに、間接的に支援を行っています。その他、地域おこし協力隊支援事業や企業の魅力発信事業などを行っています。

②施設管理業務

烏山駅前合同タクシーの2階を借り受け、コワーキング、コミュニケーションスペース「ぱらっと」として貸し出し、つながり創出の場として貢献しています。

③地域の人的・物的資源を活かした企画運営

市民ワークショップ企画運営事業、都市農村交流事業を進めています。設立以来、知見を蓄積しながら着実に進めています。

★ 私たちが提供できること

①ファシリテーターの派遣やワークショップの企画・コーディネートができます。

②講師派遣

地域づくりの実践経験をもとに、講師派遣が可能です。地域貢献を考える企業に対して、情報提供も行っています。

③地域づくりの企画・事業化支援

地域づくりの企画提案や、都市と農村の交流に関する知見を活かした助言、事業化支援を行えます。

④地域づくりネットワークによる支援

地域づくりに関わる団体や事業関係者とのネットワークを活用し、地域づくりに参加したい方への助言や支援、関係者の仲介、紹介が可能です。

⑤交流スペースの貸し出し

地域活動や打ち合わせなどに利用できる交流スペースの貸し出しを行っています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①現在、那須烏山市の「関係人口」を創出するためのプラットフォームを、市や有志企業とともに立ち上げています。

この取り組みでは、那須烏山市の自然・歴史・文化といった地域資源に触れる機会をつくり、地元企業と連携した体験型・交流型プロジェクトを展開していきます。

各企業の強みやノウハウを活かした企画を通じて、参加者に企業の魅力を感じてもらい、他地域の人たちとのつながりを生み出すことを目指します。

②ご参加いただきたい皆様へ

「自社の成長につなげたい」、「地域の活性化に貢献したい」
そう考える企業・団体の皆様と、丁寧に、一步一步、着実にプロジェクトを育てていきたいと考えています。一緒に那須烏山市の未来をつくっていきましょう。
ご関心のある方は、ぜひご参加ください。



NPO法人民間稲作研究所

理事長 館野廣幸
住所 〒329-0526 栃木県上三川町鞘堂72
電話 0285-53-1133
会員数 正会員146名
法人設立年 2000年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000040>

メールアドレス info@inasaku.org

ホームページ <https://www.inasaku.org/>

YouTube <https://www.youtube.com/channel/UCI8XKrOaOfOGFIT5fq9vRFA>

★ 設立の趣旨

民間稲作研究所では、化学合成した農薬や化学肥料を一切使わずに、自然環境を活かし利用することで、日本の主食である米を効率よく生産する方法を研究しています。この農法が広まることで、人類と自然が共存する新しい環境が創造される社会に貢献することができますと考えます。事業理念は「地域循環型有機農業ですべてのいのちと共生する持続可能な社会の実現」です。

★ 事業の内容等

- ①省資源・環境保全型農業及び健康食・食生活の改善に関する研究・技術開発
地域環境保全型有機農業の技術開発と、循環型有機農業経営管理技術の研究開発を行っています。
- ②環境保全に関する普及啓発活動及び技術普及・研究成果の実行
環境保全に関する記録集の作成、イベント(研究集会・シンポジウム・セミナー・勉強会・見学会など)の開催、有機農業技術支援センターでの集会や公開シンポジウムの実施を通じて、環境保全型農業の普及啓発と研究成果の実行を推進しています。
- ③環境保全型農業の国際交流に関する事業
JICA事業やアジア学院留学生への特別講義などを通じて、環境保全型農業の国際交流を推進しています。
- ④後継者の育成に関する事業
有機農業を志す人々・大学生・技術指導者向けの継続的な有機農業技術研修を行っており、後継者の育成に貢献しています。
- ⑤環境保全型稲作に関する啓蒙活動

農業機材・資材の生産並びに有機農業に関する書籍などの出版販売を行っています。

★ 私たちが提供できること

- ①有機稲作技術の学習支援
過去に開催してきた有機稲作技術研修会や、公開シンポジウムの記録動画を作成しています。はじめて有機稲作に取り組まれる方へのDVDや書籍案内、動画配信を提供できます。
- ②農産物の品質・安全性検査
収穫した農産物(米麦、野菜など)の放射能濃度検査や、玄米の食味検査が可能です。
- ③有機農業の技術普及支援
稲作技術、有機農業を普及させるための資材や農業用機械器具の情報提供が可能です。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみよう

有機農産物を積極的に取り入れたオーガニック給食を広げるために、有機稲作栽培技術を普及させ、開発を進める活動をしています。また、有機農産物が子どもたちの未来に大切であるという理解を広めたいと思っています。こうしたことに興味のある企業及び自治体の皆様と一緒に連携して活動していきたいと考えています。



NPO法人トチギ環境未来基地

理事長 塚本竜也
住所 〒321-4104 栃木県芳賀郡益子町大沢2584-1(明在庵内)
電話 0285-81-5373
会員数 正会員28名
法人設立年 2010年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000516>

メールアドレス tochigi@conservation-corps.jp

ホームページ <https://www.tochigi-cc.org/>

Facebook



Instagram



★ 設立の趣旨

トチギ環境未来基地は、若者を中心として森づくり活動を行う団体です。活動を通して、私たちの身の回りの「緑」と、活動に関わる「人」を育みます。

★ 事業の内容等

① Conservation Corps プログラム(長期合宿型環境保全プログラム)

3か月間の合宿型環境保全プログラムにより、日本や世界の環境を守ることができるリーダーを育みます。

② ボランティアによる地域の森づくりや自然環境保全

年間延べ1,300人が参加。「森のようちえん」の森(茂木町)、「里山と食卓を結ぶわたね」の森(市貝町)、「都市農村交流拠点」の森(那珂川町)、使われなくなった農地の荒れた竹林(茂木町)など。

③ 農村づくり活動サポート事業

地域の困りごとやお悩みを住民や地域外の人々など、みんなで一緒になって課題解決を考えます。

④ 苗木forいわきプロジェクト

東日本大震災で津波被害を受けた、福島県いわき市の海岸林再生事業です。

⑤ 若者自立支援団体との連携による森づくり事業

社会へなかなか踏み出せずにいる若者との森づくり活動です。短期合宿の受け入れや森

林ボランティア活動を行います。

★ 私たちが提供できること

① 社員参加型里山づくり活動コーディネート(社会貢献活動、新入社員研修)

荒れた里山や竹林の整備活動、植樹活動を社員の皆さんと一緒にに行います。環境を自分たちの手でよくするを通して、社会貢献とは何か実際に感じる、団体のチームワークを高める、地域の声やニーズを実際に聴くなど個人を見つめることができます。

② 里山保全活動を始めたい団体向けの研修やアドバイスの実施

新しく活動を始めたい人や企業を含めた団体のサポートも行います。企業とのこれまでの協働事例として、外資系ファッションブランド、IT企業、製薬メーカー、化学メーカー、建設機械メーカー、各労働組合などと里山保全活動を行っています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみよう

① 里山ボランティア活動の実施。里山資源(木や竹)を活かした製品・商品の開発や、地球温暖化防止のための炭づくりプロジェクトを進めたいと考えています。

② ボランティア活動だけではなく、ご希望に合わせてイベント出展や子どもの自然体験活動の企画運営も可能です。

例として、マルシェや地域のお祭りへの木工クラフトブースの出展、里山を舞台とした自然体験活動の企画運営、大学生のサークル合宿プログラムの企画運営などが可能です。



NPO法人オオタカ保護基金

代表 遠藤孝一
住所 〒321-3423 栃木県芳賀郡市貝町大字市埜720-3
電話 070-5072-2848 (火・木曜日13:00~18:00)
会員数 正会員19名 賛助会員261名
法人設立年 2002年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000111>

メールアドレス goshawk@sea.ucatv.ne.jp (オオタカ保護基金)
sashiba.natureschool@gmail.com (サシバの里自然学校)
ホームページ <http://goshawkfund.jp/> (オオタカ保護基金)
<https://www.sashiba-ns.com/> (サシバの里自然学校)

Facebook
(オオタカ保護基金)



Facebook
(サシバの里自然学校)



★ 設立の趣旨

1989年から総合的な保護活動を開始しました。絶滅危惧種で、食物連鎖の頂点に位置するワシ・タカ類の調査研究、保護、政策提言、普及教育、里山保全と環境教育の拠点施設である「サシバの里自然学校」の運営などを通じて、生物多様性の保全、人と自然が共生する持続可能な社会づくりに貢献することを目的に活動を行っています。

★ 事業の内容等

①調査研究

栃木県那須野が原でオオタカの生態調査(1992年~)、栃木県市貝町でサシバの生態調査(2002年~)を継続するとともに、結果を論文として学術研究誌に多数発表し、それらをもとに、2008年に「オオタカの生態と保全」を発売しています。

②保護活動

2002年に栃木県那須町の民有林1haを取得し、トラストによる生息環境の保護活動「ワシ・タカの森トラスト」を開始しました。現在まで、取得や契約・協定などによって、クマタカ・オオタカ・サシバを対象に約200haのトラスト地を確保して、生息地を保全しています。また、オオタカやサシバの生息しやすい森づくりや里山づくりを実践しています。

③政策提言

1996年に環境庁(当時)「猛禽類保護の進め方」、2010年に林野庁「オオタカモデル森林」の策定などに協力しています。2010年に市貝町に対して人と自然が共生する「サシバのさとづくり」を提言し、その後2014年並びに2019年に基本構想などの策定に協力するとともに、町と協働してその実現に取り組みました。2019年に市貝町にて第1回「国際サシバサミット」を町などと開催しています。

④普及教育活動

2006年にDVD「里山の猛きんオオタカ」制作、2012年に写真集「サシバの里物語」を発売。2016年に市貝町に、里山保全と環境教育を目的とした「サシバの里自然学校」を設立。現在、年間延べ約1200人以上が利用する自然体験施設となりました。

★ 私たちが提供できること

①生態系調査と保全計画

ワシ・タカ類を中心とした生態系の調査とそれを踏まえた保全計画や地域づくりの策定(実績:日光森林管理署・塩那森林管理署・市貝町など)

②自然共生に関する講演・研修

ワシ・タカ類や野鳥の生態・保全、人と自然が共生する地域づくりなどに関する講演や研修(実績:日本動物園水族館協会・宇都宮市環境学習センターなど)

③森づくり体験・里山保全活動の提供

植林・育林など森づくり体験や里山保全活動(実績:鉄道関連企業やタイヤメーカーなど)

④自然体験の実施

里山での自然体験・生きもの観察・農林業体験(実績:保育園・幼稚園・小学校・一般など)

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①大学等との共同研究

共同研究を行いたいです。例えば、2025年度からサシバのみならず、それを支える生態系の研究を新潟大学などと一緒に実施しています。サシバは、里山に生息して様々な生物を捕食することから、里山の生物多様性の指標となると言われていますが、それを実証した研究はありません。そこで今回、栃木県東部の広い範囲を調査区域とし、その中のサシバの生息地の分布に加え、様々な動植物の分布や数を把握し、その関係性を明らかにします。

②企業等と連携した里山保全活動

2025年度後半から、新たに県内に工場がある企業と、里山の保全や管理の活動を始めます。オオタカ保護基金が管理する市貝町内のトラスト地(協定地)は、約11haあります。拠点施設としてサシバの里自然学校もあることから、ここを利用して様々な活動を行うことができます。

③サシバの里山こども園

幼児施設向け里山自然体験プログラムです。多くの子どもたちへ里山での自然体験の機会を提供したく企画しました。日帰り遠足、お泊まり保育の日中活動、園外保育へお出かけの際に、サシバの里自然学校を利用できます。オーダーメイド型ですので、クラスの人数・規模・年齢にあわせて実施可能です。



NPO法人みぶまち地域活性化21

代表理事 鯉沼玲子
住所 〒321-0217 栃木県壬生町至宝1-3-34
会員数 正会員29名
法人設立年 2020年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)
<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000854>



★ 設立の趣旨

地域が抱える課題などに地域住民、町民活動団体、行政、企業と協働で取り組み、壬生町すべての人々が笑顔・元気で心豊かに暮らし、持続可能なまちづくりの実現に寄与することを目的として活動しています。

★ 事業の内容等

- ①町民活動に関する情報の収集と提供
- ②町民活動に関する相談支援、活動促進のための調整
- ③町民活動に関する研修、人材育成
協働の講座や、まちづくり勉強会を行っています。
- ④地域住民、町民活動団体、行政、企業との協働の促進や支援
きのこ教室・サツマイモ苗植え付け及び収穫事業、味噌づくり教室事業などの地場に根差した事業や、使用済切手を活用した海外支援事業、壬生の日PR、壬生町ゆうがおマラソン大会のほか、子どもの見守りなども行っています。
- ⑤町民活動に関する施設管理運営
相談・支援センターの運営をしています。

★ 私たちが提供できること

- ①地域イベントでの協働
地域イベントに協力することができます。これまでの協働事例として、壬生町ゆうがおマラソン大会における参加者へのおもてなし及び情報発信があります。
- ②子ども支援
コロナ禍における子どもたちへの居場所づくり、食糧支援活動を行っています。子ども支援の活動で協力できます。
- ③地縁組織との協働による青少年育成
地縁組織(自治会)と協働して、青少年健全育成事業(サツマイモ事業)への参画をしています。青少年育成に協力できます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

「おもちゃのまち」という夢のある地域名を生かして、まちづくりを行いたいと思います。地域住民のための子育て支援活動と一緒に取り組みませんか。



NPO法人くまの木里の暮らし

理事長 手塚功
住所 〒329-2213 栃木県塩谷郡塩谷町大字熊ノ木802
電話 0287-45-0061
会員数 正会員28名 賛助会員5名
法人設立年 2001年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000086>

メールアドレス info@kumanoki.or.jp

ホームページ <https://kumanoki.jimdofree.com>

<https://www.shioya-kumanoki.com> (星ふる学校「くまの木」)

Facebook
(星ふる学校「くまの木」)



Instagram
(星ふる学校「くまの木」)



★ 設立の趣旨

次世代につながる魅力ある地域づくりに寄与することを目的として、星ふる学校「くまの木」(正式名称:塩谷町やすらぎの体験交流施設※)の管理・運営をはじめとして、地域の資源や農山村の自然環境を活用した体験交流事業、農山村の振興に関する事業を行っています。

※塩谷町より管理運営を委託されている宿泊可能な体験交流施設です。明治7年の開校以降、平成11年に閉校するまで、2,888人の卒業生を送り出した塩谷町立熊ノ木小学校の校舎を活用しています。

★ 事業の内容等

- ①地域資源や農山村の環境を活用した体験活動などを企画・実施
星ふる学校「くまの木」及びその周辺地域を活用した体験プログラム、アクティビティ、イベントなどの企画・提案・実施・サポートなどを行っています。
- ②地域資源や農山村の環境を活用した宿泊施設管理運営及び食事提供
星ふる学校「くまの木」の管理運営と、同施設の食堂で地元の食材を活用した飲食提供を行っています。
- ③人と自然を大切に育てる子どもを育てる事業
地元小学校と連携し、教育活動の中での体験プログラムを実施しています。
- ④里地・里山の整備・保全
星ふる学校「くまの木」校内ビオトープや周辺の田畑などの活用を通じて、施設周辺の景

観や環境を保全しています。

⑤農山村地域の振興等にかかる各種実践及び調査・研究、普及・啓発
自治体や関連団体との連携・協力によるイベントの実施に加え、当法人の取組みに関する視察への対応なども行っています。

★ 私たちが提供できること

- ①廃校を活用した宿泊型体験施設
廃校を利用した宿泊型体験交流施設の管理運営で20年以上の実績があります。また、農山村地域の振興に関わる事業や里山の資源を生かした体験プログラムを展開しています。
- ②里地・里山の保全にかかるボランティア活動
遊休農地を利用した農の体験やビオトープの整備といった環境保全活動を通じて、自然豊かな未来の暮らしを考える機会を提供しています。環境保全意識を高めるだけでなく、福利厚生プログラムとしてもご利用いただけます。
- ③里地・里山の環境に関連した実験、試行など
塩谷町熊ノ木地区の水資源や森林資源を活用した新たな技術の実証実験や試行などで、協働の可能性があります。当施設は、こうした実験に適した環境を備えており、常駐職員による簡易な調査やモニタリングの補助も可能です。また、農業技術の実証や「食」に関する取組みにおいても、協働を積極的に進めていきたいと考えています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

豊かな自然に囲まれた当施設は、校庭そして体験室や宿泊棟などのハード面が整っており、更なる発展の可能性を秘めています。企業や団体との連携で、農村地域の魅力を活かした新たなサービスや新たな体験プログラムの創出に取り組んでみたいのです。

また、企業などの研修やブレインストーミングの場としての活用も想定しています。様々な学びの場、創造的な場として、活用の幅を広げていきたいと思えます。



NPO法人栃木県防災士会

理事長 稲葉茂
住所 〒329-3215 栃木県那須町大字寺子乙2548-52
電話 0287-72-0114
担当者連絡先 028-636-0771 (東亜サーベイ(株)内 田崎)
会員数 正会員218名 賛助会員1名 7団体
法人設立年 2012年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000618>

メールアドレス info@bousaishi-tochigi.org

ホームページ <https://bousaishi-tochigi.org/>

★ 設立の趣旨

栃木県防災士会は、2007年の任意団体設立以来「自助」「共助」「公助」の理念の元、幅広い防災啓発活動を県内で実施しており、栃木県並びに県下25市町からの要請対応や教育機関・報道関係含む各種団体などとの連携を通して、災害に強い安全で誰にでもやさしく安心できるまちづくりを目指し、全県域で活動しています。平常時には、防災・減災に関わる地域防災力向上のための事業、災害時には、被災地支援活動に関する事業やボランティア活動を行い、より安全で安心な地域社会の実現に寄与することを目的とします。

★ 事業の内容等

- ①県と市町の総合防災訓練
防災クイズや液状化模擬実験パネル展示などを行っています。
- ②町の防災訓練、消防フェアなどへの参加
- ③自主防災組織リーダー研修会はじめ各種団体への支援
防災講演や避難所運営ゲーム(HUG)訓練、災害図上訓練(DIG)などを実施しています。
- ④連携協定締結
作新学院大学、NHK宇都宮放送局、宇都宮大学地域デザイン学部と連携協定を締結。
- ⑤栃木県地区防災計画策定促進支援事業(2019年～)
- ⑥各市町からの要請による地区防災計画策定支援(2021年～)
- ⑦県民の日イベント(防災・減災フェア)への参加(2023年～)

★ 私たちが提供できること

「自宅」「職場」「地域」の3分野について、防災・減災への取り組みや安全対策の一例を提案することができます。

①自宅の安全について、まず我が家の安全を図ることを提案しています。家の地盤や耐震性の確認、耐震補強、家具固定、備蓄品の用意、家族の安否確認方法の周知、避難所や避難路の確認、また風水害に対しては排水溝や側溝の清掃、雨戸の確認、土のうや水のうの準備など、事前に備えることで被害を軽減(減災)、地域の安全確保にもつながります。「自分の身は自分で守る」ためにも、自宅対策から始めることを提案しています。

②職場の安全については、建物の耐震性など自宅対策と同様の安全対策を講じるとともに、災害に備えた災害対応マニュアル、BCP(事業継続計画)の立案など、対処すべき多くの事案の一部を担えます。

③地域の安全については、地区防災計画策定支援を通して、防災・減災に対応する仕組みやボランティア・組織などを有機的に結び付け、住民同士の連携に一定のリーダーシップを発揮することで、地域社会へ貢献しています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①企業の防災力強化への支援
栃木県防災士会では企業の防災強化にご協力できます。あらかじめ防災対策を講じることによって被害を大きく軽減することが可能になり、BCPの一翼を担うことができます。

②地域・職場での防災計画策定
栃木県防災士会は、平常時の防災意識の啓発、自主防災組織や職場での地区防災計画策定促進支援のための基本ノウハウを有しており、計画の立案、訓練の実施、見直しに、当該主体者とともに取り組みたいと考えています。

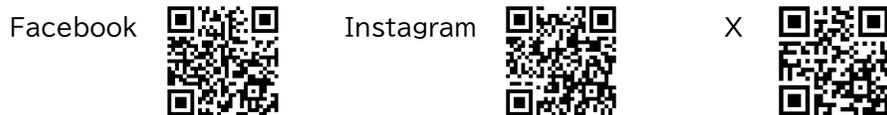


NPO法人那須高原自然学校

理事長 真山高士
住所 〒325-0301 栃木県那須郡那須町大字湯本字ツムジヶ平213-1001
電話 080-9656-3711
会員数 正会員14名
法人設立年 2007年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)
<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000388>

メールアドレス info@go-and-joy.com
ホームページ <https://go-and-joy.com/>



★ 設立の趣旨

子どもから大人まで幅広い年代の人に対して、自然環境及び環境教育に関する事業を行います。子どもの健全な育成と、自然環境の保全、良好な社会環境の確保に寄与します。

★ 事業の内容等

①自然体験活動

「自然が教室、自然が教科書、自然が先生」をモットーに、四季を通じた様々な自然体験活動を実施しています。宿泊や日帰りのキャンプ体験・工作体験・川遊び・スキーや雪遊び・ツリークライミング体験会・イベント出展などを行っています。その他、主催事業だけでなく受託事業も行い、多くのニーズに応えるプログラムを企画立案しています。

②自然体験活動指導者養成

自然体験活動指導者として、講習会や講義で講演しています。栃木県シルバー大学のふるさとふれあい学科非常勤講師のほか、キャンプファイヤー講師・リスクマネジメント講師・ツリークライミングインストラクターを務めています。

③環境教育

チームビルディングに関するプログラム指導や生き物探し、登山ガイドを行っています。

④那須高原ビジターセンター管理運営

環境省直轄のビジターセンターの管理運営や、プログラム実施・企画展示・イベント出展・広報宣伝などを行っています。(2017年～現在)

⑤キッズネイチャーフェス

「とちぎ子ども自然体験活動ネットワーク」参加団体として、春と秋に子どもたちに自然体

験ができるイベントを実施しています。

★ 私たちが提供できること

①体験イベント実施

企業のイベントと連携し、プログラムを実施することにより自然に触れ合う機会を提供します。(実施例:アウトドアショップでの体験イベント、駅構内での体験イベントなど)

②企業研修

チームビルディングやキャンプなどを通して、企業の社員の研修や交流の機会を提供します。(実施例:社員研修プログラム、社員交流プログラム、Leave No Traceワークショップなど)

③環境保全プログラム

企業のボランティアを受け入れ、日光国立公園内の特定外来生物駆除活動を実施しています。また、企業の支援をいただき森林整備を実施しています。(実施例:オオハンゴンソウ駆除活動、ツツジが育つ明るい森づくりなど)

④体験格差に対する取組み

様々な事情で自然体験活動ができない子どもたちに対して体験の機会を提供するとともに、子どもたちの健全な育成に関わる取組みをしています。(実施例:子ども支援団体との連携、フリースクールとの連携、子ども食堂との連携、特別支援学級との連携など)

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

自然環境や子どもたちの周りの環境は目まぐるしく変化しています。その中で、子どもたちを支える体制は1団体では難しい時代になってきました。

私たちは自然体験活動のプロとして、自然の知識や経験、安全管理を有しておりますが、他団体の得意な分野と掛け合わせることで「すべての子どもたちに自然体験を届ける」ことができます。また、その子どもたちの経験は自然を愛する気持ちを育むことにつながり、今ある自然を後世に手渡していくための大切な時間となります。

心を育み、自然を守る活動を一緒にやりましょう!!!



こども・若者・女性

認定NPO法人ウイメンズハウスとちぎ

理事長 丸山文子
住所 栃木県宇都宮市(※番地は非公開)
電話 028-621-9993
会員数 正会員125名 5団体 賛助会員137名 3団体
法人設立年 2001年 認定 2004年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000077>

ホームページ <https://www.womenshouse.org/>

X



★ 設立の趣旨

1996年に民間シェルター(DV被害者保護施設)としてスタートした「ウイメンズハウスとちぎ」は、設立当初から「あなたといっしょに歩きます」を合言葉に、活動を続けてきました。私たちは常に“女性の人権を守る”という視点を大切にしています。会員の皆さんの思いを受け、県や市町、各種団体、弁護士や医師と協力して、暴力被害で傷ついた女性と子どもが力を取り戻していくための支援を続けてまいります。

★ 事業の内容等

①暴力被害に悩む女性の相談と支援

夫や恋人からの暴力や性暴力に悩む女性からのご相談を、電話・面接・訪問などで随時受け付けています。暴力被害を受けた女性の安全を守り、心と身体の回復と自立に向けた支援を行っています。

②女性への差別や暴力のない社会を目指すための提言や啓発

DV(ドメスティック・バイオレンス)をはじめとする女性への暴力や差別の防止に向け、冊子やDVDなどの啓発資料を制作しています。会報「ういめんず」の発行やホームページ・SNSを通じて、相談窓口の紹介、暴力に気づくための情報などを発信し、社会全体のDV理解と防止に取り組んでいます。

③暴力被害女性に関するネットワークづくり

暴力被害を受けた女性の自助グループを支援するほか、県や市が策定するDV防止基本計画の委員会などにも参画しています。また、「全国女性シェルターネット」や「日本フェミニストカウンセリング学会」と連携し、県内外で女性支援ネットワークを構築しています。

④女性のための居場所の運営

宇都宮市の「つながりサポート女性支援事業」を受託し、生理用品などの配布や出張相談会の開催、女性のための居場所「まいまいルーム」の運営を行っています。

★ 私たちが提供できること

①企業等への講師派遣

DV・性暴力防止や被害者支援の一環として、企業向けの研修会への講師派遣を実施しています。また、中学生から大学生を対象とした「デートDV防止セミナー」「性暴力防止セミナー」など、若い世代に向けた啓発活動にも力を入れています。

②企業や行政職員のためのDV相談窓口

DV・性暴力・セクハラ・パワハラ防止対策の一環として、職員のための相談窓口を担い、必要に応じて専門機関や弁護士、医師などと連携しています。

③支援物資の収集と配布

企業や団体から寄付された生活用品、生理用品、子どもへのクリスマスプレゼントなどを、支援が必要な女性やその子どもたちに届けています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

DV・ストーカー・性暴力など女性に対する暴力は、被害を受けた女性に命の危機や深刻な心の傷をもたらします。危険にさらされた女性や子どもには、安全な居場所と、安心できる支援が不可欠です。地域で安心して生活を始めるためには、多くの人々の理解と支援が求められます。

こうした支援活動は、終わりのない地道な取り組みです。私たちは、この課題とともに向き合い、支援の輪を広げてくださる企業や団体の皆様との協働を心より願っています。



私たちは、DVや性暴力被害女性の
相談支援を行っている
民間の支援団体です。

NPO法人宇都宮子ども劇場

理事長 菅原朋子
住所 〒321-0165 栃木県宇都宮市緑2-33-10
電話 028-680-4005
会員数 正会員80名 賛助会員10名
法人設立年 2001年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000066>

メールアドレス info@ukg.jp
ホームページ <https://www.ukg.jp/>
ブログ <https://ameblo.jp/u-kg/>

Facebook



Instagram



★ 設立の趣旨

宇都宮市民及び隣接する市町村の住民に対して、幼児、青少年、大人を対象に文化活動・社会活動の機会の拡充と振興を図ることによって、子どもの豊かな成長に寄与することを目的としています。

1974年に任意団体を立ち上げて以降、子どもの豊かな感性を養い、年齢と地域を超えた子ども間の交流と仲間づくりを進めるために、優れた舞台や音楽の鑑賞などの文化活動や遊びを中心とした体験活動などの事業を実施しています。

★ 事業の内容等

①子どもの活動事業

乳幼児から高学年まで、年齢を超えたつながりのある活動を作っています。
様々な世代を超えた仲間とともに活動できるイベントを企画し、子どもたちの今を応援する活動をしています。

②舞台鑑賞活動

年に数回プロの劇団や芸術家を招き鑑賞会を開催しています。

③文化・育成事業

子どもの健全育成につながる講演会の開催などを企画しています。

④広報活動

⑤各分野の芸術・文化団体との連携及び各分野の非営利団体との交流

★ 私たちが提供できること

①企業イベント支援

企業の祭りやイベントなどで公演を行うなど、子どもたちに活躍の場を提供したり、従業員が親子で企業イベントに参加するきっかけ作りを提供できます。

②鑑賞会・体験活動企画

これまでの活動で得た鑑賞会企画のためのネットワークや現代の子どもたちに足りない体験活動企画のノウハウを提供できます。

③子育て中のママ向けワークショップ開催

働いている子育て中のママたちにワークショップを開催し、リフレッシュの場を提供しています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

生の舞台を親子や友達と一緒に鑑賞する機会を大切にしています。心揺さぶられる鑑賞活動や、仲間たちと力を合わせ喜びを分かち合う体験活動の積み重ねが、子どもたちのコミュニケーション能力や、人への信頼感を育みます。一緒に鑑賞会やイベントなどを企画したり、ご支援いただきたいと思います。



NPO法人KHJとちぎベリー会

理事長 森あき子
住所 〒320-0032 栃木県宇都宮市昭和2-3-5
電話 028-627-6200
会員数 正会員68名 賛助会員7名
法人設立年 2009年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000467>

メールアドレス mail1@khj-tochigiberry.com

ホームページ <https://khj-tochigiberry.com/>

★ 設立の趣旨

当法人は、平成14年にひきこもりなどに悩む子どもを持つ家族の会として活動を始め、勉強会や学習会、講演会などを行っています。これらの活動により、まず家族が社会との関わりを取り戻し、元気になること、それにより当事者に良い影響を及ぼし、当事者が回復に向かうこと、また、不登校やひきこもりについて社会一般の理解を得るよう、講演会などで啓発することを目的として活動しています。

★ 事業の内容等

- ①ひきこもり当事者及び当該家族のためのメンタルヘルスケア
家族のための月例会、講演会、学習会、個別相談、訪問サポートなどを提供しています。
- ②ホームページ、講演会などによる啓蒙普及
ホームページでの情報発信、講演会の開催などを通じて、ひきこもり問題への理解と啓蒙普及に努めています。
- ③相談・情報提供
グループ相談会、個別相談、講演会などの開催により対応しています。
- ④当事者の居場所
カフェ苺屋での居場所体験、カフェ苺屋や若者フェスタなどでの就労体験による社会性習得の機会を提供しています。
- ⑤当事者及び家族のためのレクリエーション
当事者及びその家族の関係作りの促進を目的とした、キャッチボールや季節の行事などを実施しています。

★ 私たちが提供できること

就労支援・自立支援といった若者を支援する仕組みがある中で、当法人の活動は専門的な相談業務を行うとともに、当事者の家族が深い悩みに陥る前のセーフティーネットとしての活動を展開しています。これらの活動で培ったノウハウを提供することができます。皆様の理解が深まることが協働の大きな一歩と考えています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

企業などに対し、ひきこもりや不登校からの回復について、これまでの活動から得た対応などに関する出張講話を行えます。



認定NPO法人青少年の自立を支える会

理事長 福田雅章
住所 〒320-0037 栃木県宇都宮市清住1-3-48
電話 028-666-6023
会員数 正会員132名 賛助会員146名
法人設立年 1999年 認定 2002年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000022>

メールアドレス sasaeru@snow.ucatv.ne.jp
ホームページ <https://www.jiritsu.org/>
ブログ <https://www.jiritsu.org/news/>

★ 設立の趣旨

義務教育終了後又は高校中退し、就労しないなど不安定な生活をしている青少年に対して、自立に関する相談・援助事業を行い、児童福祉に寄与することを目的としてスタートしました。

★ 事業の内容等

① 青少年の自立に関する相談・援助

とちぎユースアフターケア事業協同組合と連携して、社会的養護のもとで育った170名に対し、相談対応を行っています。(令和6年度はやり取り1084件、相談603件)

② 自立援助ホーム「星の家」の運営、児童自立生活援助

義務教育終了後や高校中退で就職し、自立を強いられた児童養護施設などの子どもたちが、職を、そして生活拠点を失った際の拠り所となり、再スタートを切れるまでの間、生活支援を行います。

③ ファミリーフォーム「はなの家」の運営(小規模居住型児童養育事業)

里親や児童養護施設で養育実績のある方が、自宅で5、6人の子どもを養育する事業です。はなの家では中学生以上の男の子が生活しています。

④ 居場所づくり事業

宇都宮市の「要支援児童健全育成事業」として養育環境がきちんと機能していない家庭環境にある小学生・中学生に対して放課後の勉強や遊び、食事、入浴などの生活援助を行っています。学校に迎えに行き、終了後は自宅に送り届けます。

⑤ バザー、チャリティコンサート

バザー「星の家祭り」、「青少年の自立を支える会コンサート」を実施し、活動費の一助と

しています。

★ 私たちが提供できること

① 虐待防止に向けた啓発活動

「子ども虐待をなくそう！ 県民のつどい」やシンポジウムの開催、虐待防止パネルの作成(栃木県と協働)などを行ってきました。

② 子ども支援に取り組む団体・企業への支援

事業で培ったノウハウを子どもの健全育成に取り組もうとする企業や団体に対し情報提供や講師派遣ができます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

① 児童虐待防止のための普及啓発活動にご協力をお願いします。

② バザーへの参加にご協力をお願いします。企業や従業員の皆様の出品・ご参加をお待ちしています。収益は、家庭や保護者からの手助けが得られない青少年の自立支援に活用されます。

③ チャリティコンサートへの参加及び広報にご協力いただきたいです。従業員の皆様への情報発信やイベントへのご参加をお願いしています。

④ ボランティアに挑戦したい方を歓迎しています。ぜひご参加ください。



認定NPO法人チャイルドラインとちぎ

理事長 福本佳之
住所 〒320-0837 栃木県宇都宮市弥生1-6-3
電話 028-614-3253
会員数 正会員61名 支援会員60名 15団体
法人設立年 2004年 認定 2013年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000193>

メールアドレス info@cltochigi.org

ホームページ <https://www.cltochigi.org/>

Facebook



Instagram



X



★ 設立の趣旨

「子どもが主体の、子どもの最善の利益を実現するために、こころの居場所をつくり、受けとめた声を基に子どもが生きやすい社会をつくる」というミッションを掲げ、「子どもの権利条約」の理念を基本として活動をしています。

子どもが生きやすい社会をつくるために、電話やチャットの相談を通して見える社会課題や、子どもたちの状況を社会に発信し、また、行政・企業・団体とも連携・協働することにも取り組んでいます。

★ 事業の内容等

①子どもの声を聴く事業

電話相談のほか、オンラインチャットでも子どもの声を聴いて寄り添っています。相談の受け手となる人への研修や、受け手を支える人への研修も実施しています。

また、県内の18歳までの子ども※(小学生・中学生・高校生・専門学校生)に向けて、チャイルドラインの告知カードの配布を行っています。

※チャイルドラインでは、18歳までを子どもと定義しています。

②地域社会への啓発

公開講座を開催するほか、イベントなどへの参加による広報活動、広報誌や実施報告書を作成しています。

★ 私たちが提供できること

①子どもの心に寄り添う支援ノウハウ

子どもたちが持つ悩みや喜びを傾聴し、支援する方法などについて、当法人は多くのデータと実績を有しています。

②講演会の開催及び講師派遣

企業の従業員、子育て中の方、子どもに関わる仕事やボランティアに従事されている方などを対象に、傾聴の実績とデータに基づいた「子どもへの寄り添い方」をお伝えする講演会を開催したり、講師を派遣したりしています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみよう

電話やチャットの受け手となるボランティアの研修に力を入れています。ボランティアの方々が安心して子どもたちの声に向き合える体制を整えていますので、あなたもぜひ「チャイルドライン」の受け手になりませんか。



認定NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク

代表理事 岩井俊宗
住所 〒320-0862 栃木県宇都宮市西原1-3-4 (aret)
電話 028-612-1575
会員数 正会員47名 賛助会員26名 20団体
法人設立年 2010年 認定 2025年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)
<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000496>

メールアドレス ysn_office@tochigi-ysn.net
ホームページ <https://tochigi-ysn.net/>



★ 設立の趣旨

私たちの社会が生み出した課題は、私たち自身が解決できると信じ、若者の挑戦と成長を支え、地域と個人をつなぐコーディネーターとして活動し、若者の力を活かした地域の課題解決・活性化を加速させていきます。

★ 事業の内容等

- ①若者による地域を良くするスタートアッププログラム「iDEA→NEXT」
社会を良くするアイデアの実装化に向けて半年間の伴走支援を実施しています。
- ②情報発信事業「あしかもメディア」
自分の身近にある魅力的なヒト・コト・モノ・シゴトに目を向けるきっかけや「明日いいことあるかも」という前向きな気持ちを育もうと、栃木県の魅力的資源を発信しています。
- ③若者コミュニティ「よりも」
若者が安心してチャレンジできる居場所です。学校や会社の枠を飛び越えて、とにかく何かの活動をやってみたい若者から具体的にカタチにしたいアイデアのある若者が集うコミュニティです。

★ 私たちが提供できること

- ①若者と現場をつなぐ連携・協力サービス
若者の力を活用して、組織や地域に変化を生み出し、課題解決を加速させたい企業や団体との連携を促進します。若者たちの力を借りたい時、若者が参画できる機会・企画をおつくりします。
- ②若者向けの情報発信・広報支援
若者目線で企業や活動の魅力を深掘りし、次世代を担う若者たちに伝わる記事を執筆します。
- ③プロジェクト型学習の企画・運営
若者の力を活かした地域の課題解決・活性化、ソーシャルビジネス起業、課題解決型人材育成、組織間連携・協働・コーディネート、非営利型組織の運営・マネジメント、主体性を高めるワークショップなどのノウハウを提供します。
- ④県内大学と連携し、社会人・企業の学び直しプログラムを実施しています。
- ⑤会員・支援者の皆様には、定期的に活動によって生まれた若者たちのプロジェクト進捗報告会をご案内できます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

- ①とちぎユースサポーターズネットワークは若者の力を活かして地域の課題解決・活性化を促進するための活動をしています。
若者の力を活かして新たな価値創出をしていくために、インターンシップやメディアへの記事掲載、研修実施などについてのご相談を随時受け付けております。
- ②プログラムに参加したい方はもちろん、「どんなことしているんだろう？」とユースに興味を持ってくれた方も大歓迎です。ホームページに現在参加できるプロジェクトとともに、プロジェクト以外のことについてお話したい方へ向けた情報もご紹介しています。ぜひご覧ください。



NPO法人とちぎユースワークカレッジ

理事長 横松陽子
住所 〒321-0345 栃木県宇都宮市大谷町2003-3
会員数 正会員14名 賛助会員2名
法人設立年 2013年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000642>

メールアドレス info@youthworkcollege.com
ホームページ <https://www.youthworkcollege.com/>
ブログ <http://blog.canpan.info/tywc/>

★ 設立の趣旨

子どもや若者に対して、社会的孤立の解消と就職活動支援に関する事業を実施するとともに、支援を広げるための支援者育成の事業や、社会的孤立の問題についての啓発事業も行っています。

★ 事業の内容等

①若年無業者のための通所型支援

日光市の事業所にて、体験、集団活動、社会教養を柱としたとちぎユースワークカレッジを運営しています。メンバーが通いながら関係性を高め、人との関わりを学び直す場となっています。もともと人との関わりが苦手な若者は、関係性が生まれ、人と関わる意味を感じることで、自己肯定感が高まっていきます。

②若年無業予防のための事業

相談対応事業を行っています。

③支援者育成

若者支援に取り組みたい方に向けて、個別支援を行っています。

④啓発事業

社会的孤立や若者支援の現状の講演、原稿執筆及びテレビ、ラジオに出演しています。

★ 私たちが提供できること

①回復プログラムの提供

引きこもりの支援策として「社会性」「意欲」「自尊心」の回復プログラムを実施しています。これらのプログラムは社会で生きていくうえで必要な力であり、企業などが行う新人研修や青少年研修向けとしても提供できます。

②リーダー育成研修

「やめない人材」を育成するための、リーダー向け研修を提供できます。

③青少年理解のための教育プログラム

青少年の現在を理解するプログラムを提供できます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①引きこもり経験者を体験入社で受け入れてみませんか？

企業の人材不足にも効果があると考えています。

②ワークシェアを取り入れてみませんか？

働き方にワークシェアを導入することで、短時間から働きたい若者や、自宅で介護や子育てを行っている人材を受け入れ、働きやすい社会、トライできる社会と一緒に目指していきましょう。

③伝統工芸の担い手に若者の力を活用してみませんか？

職人的に黙々と作業ができる若者がいます。若者と一緒に技術を残していきましょう。



NPO法人栃木おやこ劇場

理事長 松本春美
住所 〒328-0037 栃木県栃木市倭町14-1 (小江戸ひろば北蔵)
電話 0282-21-8776
会員数 正会員110名
法人設立年 2001年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000079>

メールアドレス info@tochigiyoako.jp

ホームページ <https://tochigiyoako.jp/>

YouTube https://www.youtube.com/channel/UCPZjV8aOvkRwaAgnN_b3fUQ

Facebook



Instagram



★ 設立の趣旨

「とびっきり子ども時代を！」を合言葉として活動しています。全国に多数存在するおやこ劇場・子ども劇場の一つです。少子高齢化や核家族化が問題視される現代において、栃木おやこ劇場は、様々な人との様々な活動を通じて、より良い地域社会を作り、子どもという未来を輝かせることを目的としています。また、家族だけでは経験しにくい特別な体験を、子どもと大人と一緒に作り、感動を共有できるような活動を提供することを目指しています。

★ 事業の内容等

①舞台鑑賞事業

年間を通じて、お芝居、音楽、パフォーマンスなど多岐にわたる分野の舞台芸術作品を鑑賞する機会を、身近な地域に提供します。

②体験活動事業

体、頭、心をフル活用して遊ぶ活動で、舞台鑑賞で得られた感性をアウトプットし、感性の幅を広げることを目指しています。

③文化教養研修事業

「こども・遊び・文化」をテーマに、学習会を開催し学び合います。

また、栃木市の歴史と文化にも触れ、教養を深めるための文化活動を行います。

④広報活動事業

パンフレットの発行や劇場ニュースの発行、SNSの発信を通じて、活動の情報を発信しています。

⑤各分野の芸術文化団体との協働事業又は他団体との交流
他の団体と協力してイベントを開催しています。「蔵の街忍者現る!」、「百鬼夜行」、「サマーフェス」、「歌麿まつりにて、和綴じの帳面づくり」、「子どもが創るあそびのまち:ミニとちぎ」、「ハロウィン」、「栃木山車祭り」などのイベントを行っています。

★ 私たちが提供できること

① 舞台芸術の紹介・仲介

首都圏を中心にした子ども劇場関連のネットワークにより、情報を収集・整理することで、乳幼児・児童向けを中心に、青年・大人たちに演劇・音楽・人形劇などの舞台鑑賞作品の紹介・仲介することを提供できます。

②親子で楽しめる体験活動の提供

防災段ボールキャンプ・スノーキャンプ・忍者・サイエンス・自然体験・マルシェ(縁日)など、親子で体験できる「場」を提供できます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

親子や仲間と一緒にできるイベントの企画などを一緒にしたいと思います。



認定NPO法人だいじょうぶ

理事長 畠山由美
住所 〒321-1261 栃木県日光市今市1659-10
電話 0288-21-2119
会員数 正会員87名 賛助会員75名 9団体
法人設立年 2005年 認定 2016年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000254>

ホームページ <http://www.npo-daijobu.com/>

Facebook



Instagram
(あそびのにわ)



★ 設立の趣旨

団体の目的は児童虐待の終止です。今起きている虐待を止めること、虐待に至らないように予防することを目的としています。そのために子育てに困難を抱えている家庭に寄り添い、話を聴き、必要な支援をしています。

★ 事業の内容等

①虐待防止・発見のための相談事業

日光市と協働で相談業務にあたっています。行政だけでは児童虐待の対応に限界を感じた市の職員が、虐待対応に特化した民間団体を作ろうと広く市民に呼びかけてできたのが「だいじょうぶ」です。1日24時間いつでも子どもや親のSOSに応えられるようになりました。現在では、相談ケースの情報が共有化され、日光市の家庭児童相談室に市の職員とだいじょうぶの職員が机を並べて相談対応にあたり、連携を深めています。また、支援へのつながりもスムーズにできています。

②子どもの保護に関する事業

虐待だけでなく、親の育児疲れ、入院など、様々な理由で保護が必要な子どもをお預かりしています。地域で子どもの預かりを行うことで、保護中も元々通っていた学校、保育園に通えるようになります。親にとって、緊急時に子どもを預けられる、頼れる実家のような役割を担っています。

③虐待防止に関する研究事業及び政策提言

2012年より毎年、虐待行動に至ってしまった親のための回復プログラム「MYTREEペアレンツ・プログラム」を実施しています。プログラム受講前後のアンケートによる効果測定から、有効性が確認できています。また、虐待などで傷ついた子どもの心に寄り添い、自尊感情を回復させる関わりを子どもの居場所で実施、子どもの居場所連絡協議会で情報共有を行っています。

④子どもが健全に育つ環境づくりを支援する事業

子どもの人権が守られ、当たり前のお生活をおくれるように子どもとその家庭を支えてい

ます。具体的には、「子どもの居場所事業(子ども第三の居場所「あそびのにわ」)」、「育児・家事訪問支援事業」などがあります。「親と子の居場所」は子どもにとってはもう一つの家、おばあちゃんちのような所。お母さんにとっては優しい実家のような所です。

★ 私たちが提供できること

①子育ての孤立防止に向けた啓発活動

子育てを孤立させないように親や地域向けにお話しすることができます。

②講師派遣

虐待、子育てなどについての話や、貧困の中にある子どもの現状の話、お父さんお母さん向けの子育てのノウハウなどについて、講師派遣が可能です。

③親や子ども、家庭への相談支援

④「だいじょうぶ応援団」でのPR

「だいじょうぶ応援団」に入りませんか? 「だいじょうぶ」が作成する広報物などに企業名などを掲載することで、子どもや親の支援に関心のある家庭にやさしい企業であることをPRできます。

⑤支援の現場体験の提供

実際に困っている人に関われる現場を提供できます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①企業や団体の開催するイベントにブース(子育て相談など)を出したいです。

②企業や団体の開催するイベントに子どもたちを連れて参加して、楽しい経験を体験してもらいたいです。

③「だいじょうぶ」のイベント(夏祭りなど70名程度参加)に出店してもらいたいです。実際の子どもの様子を見て、できることを一緒に考えてもらえると嬉しいです。

④企業の窓口に募金箱やプログラムのチラシなどを置いていただけませんか?

知ることが子どもたちの支援につながります。

⑤製造過程の不具合などで、流通に回せない製品を、子どもたちに提供していただけませんか?

⑥子どもたちが安心して生活し、生活リズムを保てる寮や下宿をやってみたいです。不動産業などのノウハウのある方、一緒に活動してみませんか?

⑦子どもたちの社交場「駄菓子屋さん」を開いてみたいです。協力できる方をお待ちしています。



NPO法人なんとなくのになわ

理事長 手塚郁夫
住所 〒321-1261 栃木県日光市今市378
電話 090-3227-7079
会員数 正会員48名 賛助会員13名 3団体
法人設立年 2005年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000224>

メールアドレス info@nantonakuno.net
ホームページ <http://nantonakuno.net/>

★ 設立の趣旨

子どもたちが集まり、ゆっくり過ごすことのできる「子どもの居場所」。みんなの自主性を大切に、地域に根ざした新しい学びの場をめざします。「学校に通うことを強制せず、子どもたちに寄り添い、多様な生き方を応援できたら」、「親が交流できる場所があったら」、「学校以外のもうひとつの学びの場を作りたい」と集まった大人たちが2004年6月に始めました。

★ 事業の内容等

①子どもの居場所の提供と学びの場の運営

日光市とその周辺地域に住む子どもや青少年に対し、学習や自立支援、及び地域への啓発活動を行っています。ゆったりと過ごせる時間と空間の確保、子どもたちの意見や要求に基づいた活動、雑談会、楽器練習、ミーティング、ゲームなどを通じたコミュニケーション、個別学習援助の充実などを行っています。

②IT環境を活用した学びの支援

ホームページの公開・定期的な更新により、居場所や活動の紹介などの情報発信を行っています。会報のPDF版提供も行っていきます。

③教育や福祉についての相談・情報提供活動

不登校相談や教育に関する悩み相談に随時対応しています。

④障がい理解及び啓発に関する企画運営事業

毎月第2月曜日の午前10時からお昼まで「子どもの居場所」にて「茶話会」を開いています。これは子育ての悩みを気軽に話し合う場となっています。不登校関連の勉強会も実施しています。

⑤第二種社会福祉事業の相談支援事業の経営

相談支援専門員が放課後等デイサービスの利用を終了した方などへ、家族、事業所の協力のもとで、安心して生活できるように対応しています。

★ 私たちが提供できること

①青少年や障がいのある人の自立支援・就労支援

「ひきこもり相談センター・かがやき」や「NPO法人だいじょうぶ」などの地域支援団体との連携を取り、就労支援見学会の開催、「引きこもる子どもを持つ親の会」との話し合いや、障がいのある人の自立に関する相談に対応しています。自立支援・就労支援のノウハウがあります。また、家庭環境の相談にも応じられます。

②自然体験プログラムの企画・運営

自然環境の活動や、自然体験のプランづくりを提供できます。

③自然環境の中での学びと自然環境保全の啓発活動

「今市の水を守る市民の会」と共催し、川の生き物調査「川むしたんけん隊」を5月に足尾(神子内川)、10月に明神(行川)で実施しました。さらに、環境測定班による放射能測定も随時継続しています。自然体験イベントや、環境測定活動への参加・協賛を通じて、環境保全・CSR活動の共同実施が可能です。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみよう

従業員やその家族に対し、発達障がい者への理解と、対応方法を学ぶ機会を提供することで、企業での障がい者への理解・就労促進につなげたいと考えています。



NPO法人子どもの育ちを支える会 さくらネット小山

理事長 高橋弘美
住所 〒323-0807 栃木県小山市城東2-26-10
電話 0285-37-7976
会員数 正会員11名 賛助会員54名 25団体
法人設立年 2016年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000747>

ホームページ <https://sakuranet-oyama.com/>

★ 設立の趣旨

地域には支援資源が乏しく、家庭環境が悪化する様子を多く目にしてきた経験から、「地域で支援できる居場所をつくりたい」という想いで、NPO法人を設立しました。虐待、貧困、不登校、障がい、外国籍など、様々な困難を抱えて暮らす子どもたちの成長を支える活動に取り組んでいます。

★ 事業の内容等

①子どもの居場所づくり事業

小山市から委託を受け、子どもの居場所「おひさま」を運営しています。保護者の子育てを補完し、健全な家庭の教育を経験させることで成長と自立を促します。無料の学習支援も定期的に開催しています。困難を抱える子どもたちにとって、「おひさま」は「2番目の家」という位置づけです。子どもたちには、宿題や食事、入浴や洗濯などの支援のほか、あいさつや言葉遣いなどの基本的な生活習慣も身に付けられるように教えています。また、子どもや保護者を対象とした調理活動のほか、配食事業にも力を入れています。

②児童自立生活援助事業

「自立援助ホームさくらの家」を運営し、児童相談所が入居を決定した義務教育修了後の子どもを受け入れています。入居後は大学進学や就労を支援し、自立に向けた生活をサポートしています。

③生活応援事業

企業や団体からの寄付品を、支援が必要な子どもやそのご家族に提供しています。

④相談事業

市の家庭相談員やスクールソーシャルワーカーと連携し、相談内容により、物品の提供や育児相談などに対応しています。また、支援家庭にお弁当を届ける配食事業を行うことで、保護者の孤立を防ぎ、虐待予防につなげています。

⑤地域のネットワークづくり

民生委員・児童委員、自治会、その他の関係団体と連携し、寄付やボランティアなどによる支援体制の構築に取り組んでいます。

⑥普及・啓発、研修会の企画運営事業

栃木県子どもの居場所連絡協議会の事務局として、子どもの居場所担い手育成事業を受託し、居場所スタッフや地域住民を対象とした研修会の企画・運営を行っています。

★ 私たちが提供できること

①子どもの居場所づくりに関する研修会・啓発活動

子どもの居場所づくりの普及・啓発を目的に、企業や各市町の自治会、団体を対象に研修会や啓発活動を行っています。

②寄付品の収集と提供

企業や団体から寄せられた学用品や食料品、季節の行事に合わせたプレゼントなどの寄付品を受け入れ、支援を必要とする子どもたちやそのご家族に届けています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①子どもたちが置かれている実情を地域の方々に発信することで、次第に協力者が増えてきています。活動に賛同してくださった企業や団体から様々なご支援をいただき、また、地域の大学からは、教員や心理職を目指す学生さんがボランティアとして継続的に子どもへの支援に関わってくださっています。

今後、企業や団体の方にご協力いただきたいこととして、子どもたちが自由にのびのびと遊べる場所を提供していただけたとうれしいです。子どもの居場所は平屋で手狭なため、子どもたちが自由に走り回れません。そのため、企業の体育館などを開放していただけたらありがたいです。

②子どもたちの“体験の貧困”も深刻です。新幹線や飛行機に乗る、映画や音楽に触れるなどの経験を通して、進路や将来へのイメージを広げてもらいたいと思っています。「本物の体験」をサポートしていただける方をお待ちしています。

地域全体で社会的養育が必要な子どもを支える機運が高まってほしいと願っています。



NPO法人とちぎ多胎ネット

理事長 南部裕子
住所 栃木県小山市(※番地は非公開)
会員数 正会員15名 1団体 賛助会員3名
法人設立年 2023年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)
<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000918>

メールアドレス tochigi.tatai@gmail.com
ホームページ <https://tochigi-tatai.jimdofree.com/>



★ 設立の趣旨

多胎育児の経験者だから分かる、多胎育児をみてきたからできる、そういった支援があるのではないかと思います。「とちぎ多胎ネット」を立ち上げました。妊娠した時からつながり孤立させず、寄り添いながらの支援を目指しています。

★ 事業の内容等

- ①多胎プレファミリー教室(オンラインで年4回開催)
ふたご・みつごを妊娠されたご家族向けの教室です。多胎妊娠の基礎知識やマイナートラブルの対処法などについて、助産師による講話を行っています。
また、先輩パパの育児体験談を聞く機会の提供や、先輩ファミリーとの交流会を行っています。
- ②多胎交流会 毎月第2・第4水曜日10:00~12:00(予約不要)
小山市桑市民交流センター(マルベリー館)子育て支援室で開催しています。
年2回、多胎家庭同士の交流会を兼ねたフリーマーケットを開催しています。妊婦さんとそのご家族も参加可能です。
- ③多胎支援啓蒙活動
妊娠届時に「とちぎ多胎ネット」カードを行政窓口で配布しています。
多胎育児情報や社会資源についてホームページやSNSで発信しています。
栃木県内の多胎情報がわかるオープンチャット「栃木ふたご・みつごinfo」を開設しています。その他、多胎育児・支援についての講演を行っています。

★ 私たちが提供できること

- ①大学との連携(宇都宮共和大学・自治医科大学)
学生にとって多胎児・多胎家庭と交流する実習の場になっています。
多胎家庭は外出が困難で孤立しがちですが、学生ボランティアが参加してくれることで、安心して交流会やイベントに参加することができます。ボランティアの場を提供できます。
- ②小山市との連携
現在は小山市から多胎交流会の定期開催場所を提供していただいています。
開催場所をご提供いただければ、多胎交流会を開催できます。
また、小山市の多胎家庭交流会へピアサポーター(多胎育児経験者)を派遣しています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

- ①企業の福利厚生に多胎支援を導入したいと考えています。
例えば、多胎プレ教室の実施、ピアサポーター利用券、産後ドゥーラ(産後の母親のためのサポート)利用券など。企業向けに多胎育児勉強会、多胎育児の基礎知識や父親の育児休暇の取得についてなど。
- ②『栃木県はいちごだけじゃない!「ふたご・みつご」も良く育つ!!』
とちぎの「いちご・ふたご・みつご」を合言葉に、子育てするなら栃木県と思ってもらえるような地域づくりを一緒にやっていきたいです。



NPO法人発達支援 飛翔のもり

理事長 宇梶志郎
住所 〒323-0012 栃木県小山市羽川925-4
電話 0285-20-0238
会員数 正会員10名
法人設立年 2003年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000154>

メールアドレス rizumu@mist.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.rizumuen.com/>

★ 設立の趣旨

当法人は、障がいのあるお子さまのためのサービス提供事業所です。就学前のお子さま、就学児(高校生まで)を対象とした療育・生活訓練・デイサービスなどを行い、福祉の増進に寄与することを目的としています。

★ 事業の内容等

①通所支援事業

- ・児童発達支援:就学前のお子さまを対象とした療育サービスです。
- ・放課後等デイサービス:小学生から高校生までを対象とした生活訓練やデイサービスを提供します。

通所支援事業所は3カ所あり、幼児・未就学児中心の「リズム園」、特別支援学校に通う児童・生徒対象の「森のリズム園」、小学校・中学校の特別支援学級に通う児童・生徒対象の「花のリズム園」に分かれています。

②相談支援事業

お子さまの抱える課題の解決や適切なサービスの利用に向けた支援をしています。福祉サービス利用のための計画の作成、モニタリング、必要な情報提供等を行います。

③保育所等訪問支援事業

障がいのある子どもが通う保育所や幼稚園、小学校などに訪問支援員が出向き、子どもが集団生活に適應できるように専門的な支援を行うサービスです。

④研修事業

専門家を講師に招き、障がいに対する理解を深め、お子さまへの支援充実を目的とした研修会を随時実施しています。また、職員の資質向上にも力を入れています。

★ 私たちが提供できること

①療育支援

児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援を行っています。0歳～高校生までのお子さまが対象となります。保育所等の訪問支援では、児童発達支援管理責任者や言語聴覚士など多職種の専門職員が連携し、保護者や関係機関からの要望に応じています。「うまく歩けない」「言葉が遅い」「落ち着きがない」「理解が遅い」など、お子さまの発育や養育のことで相談の場を提供できます。

また、専門家による発達相談なども提供できます。

②専門家による研修会の開催

専門家を講師として招き、障がいに対する理解を深め、お子さまへの支援の充実を目的として、研修会を提供できます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

企業や他団体の皆様とは、高校生の就労支援の一環として、会社見学や就労体験などのサポートを一緒に行えるとありがたいです。子ども一人ひとりに様々な障がいがある中で、共生社会の難しさを感じることもありますが、企業や地域の皆様が障がいをもつ子どもたちにフランクに接していただくことで、障がいへの理解も深まると信じています。

園では体験できない企業訪問や社会見学など、子どもたちが多様な経験を積めるよう、他団体と協働していきたいと考えています。



NPO法人ハロハロラボ

代表理事 小川美穂
住所 〒321-4357 栃木県真岡市下大沼1-19-4
会員数 正会員21名
法人設立年 2023年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000913>

メールアドレス hello.halolab@gmail.com

ホームページ <https://www.hello-halolab.org/>



★ 設立の趣旨

私たちは、子どもたちが多様性を重んじ自分で選択できることで、自己肯定感をあげ、生きやすい社会を作ることを目的としています。子どもを中心に多世代でつながる、コミュニケーションの場、学習・体験の場として、2021年からオンラインの居場所を提供しています。これにより子どもたちの健やかな成長を促すとともに、自己肯定感を高め生き抜く力をもち、積極的に社会に参画していけるようになることを目指しています。

★ 事業の内容等

①子どもの居場所提供

旧中村南小学校や真岡鐵道久下田駅「さくらホール」などを利用し、子どもたちが多様な学びを得る場や、栃木県内のフリースクールと協働したフリースクールフェスティバルなどを実施しています。シニア世代の方との交流で、一緒に料理をする活動なども行っています。学校に登校していない・している、障がいがある・ないに関わらず、それぞれを尊重し、つながる場をみんなで作っています。

②オンラインによる子どもの居場所提供

オンラインにて子どもの居場所づくりを実施しています。Zoomやメタバースでつながる場、投稿でつながる場、ゲームなどでつながる場、他団体とつながる場など、お子さんたちの興味・関心に近い、好きな事でつながる場を目指しています。

③ウェブサイト・メディアを用いた情報発信

HP・Note・X・Instagramを利用し、積極的に情報発信しています。

④人材育成にかかわる事業

若い世代が未来の子どもたちを育むための活動を支援し、大学生のインターンシップやボランティアを受け入れています。また、幼稚園児・小学生・中学生・高校生・大学生の交流事業も実施しています。

★ 私たちが提供できること

①一人ひとりを尊重する場づくり

学校に登校していない・している、障がいがある・ないに関わらず、一人ひとりを尊重する場の作り方を一緒に考えることができます。場づくりのノウハウをお伝えできます。

②子ども支援

お子さんたちの声を聞き、好きなことを楽しむ方法を一緒に考えることができます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①学校に通いづらさのあるお子さんたち、障がいのあるお子さんたちの社会科見学や職業体験などを実施したいと考えています。

農業、工業、商業など、自団体だけではできない体験を子どもたちに体験させてもらえる団体と一緒に活動できることを希望します。

②高校生・大学生・地域の若者のインターンシップやボランティアを受け入れたいと考えています。



NPO法人風車

理事長 渡邊翔太
住所 〒329-2162 栃木県矢板市末広町19-2(フリースペース風の家)
電話 080-1073-2269
会員数 正会員10名 賛助会員32名
法人設立年 2017年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000782>

メールアドレス kazaguruma1023@gmail.com

ホームページ <https://kazaguruma-yaita.jimdofree.com/>

★ 設立の趣旨

NPO法人風車は、人々が互いに助け合い、支え合い、安心して平等に暮らせる地域をつくることを目的として1992年から活動を続けています。
「フリースペース風の家」を拠点に様々な活動をしております。

★ 事業の内容等

①子育て支援、障害者及び高齢者に対する支援事業

不登校に悩む親子、障がいを持つ子どもや若者たちの居場所活動、元教職員や、学生による子どもたちのための学習支援のほか、ひな祭り・こどもの日・バーベキュー・クリスマス会・お餅つきなどのイベント事業も行っています。

②地域活性化事業

「フクワクわんぱく広場」では、花の種まき・かまどでのご飯炊き体験・自然体操・魚のつかみ取り・コスモス畑作り・手作りかかしまつり・竹トンボづくりなどを実施しています。また、子ども未来館で行われる地域イベントへのボランティア協力なども行っています。

③子ども食堂の運営管理事業

子ども食堂の食材として使う野菜の収穫作業のほか、ふれあい食堂(TAKIBI)・風の家食堂を運営しています。

④フードバンク事業

支援を必要とする子どもがいる家庭に対して、食品配布会を行っています。

★ 私たちが提供できること

①子どもとの関係づくり

子どもとの関わり方を伝えられます。

②自己肯定感を高める支援

自己肯定感を高める方法をお伝えできます。

③自然体験活動の提供

里山や田んぼでの体験活動ができます。

④地域交流・ボランティア活動の推進

地域の方との交流として、耕作放棄地を活用したボランティア活動を行っています。

お花畑の会(ボランティアグループ)、山縣農場花畑(山縣有朋記念館)、ぶらぶらクラブ(高齢者ボランティアグループ)、AKICHI(子どもの外あそび支援ボランティア団体)、一般社団法人まちづくり矢板、フリースクールチャレンジハウス、佐貴歯科医院(風の家建物提供)の他、行政や市社会福祉協議会などと連携しています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①フードバンク活動の食品寄贈のために回収ボックスの設置をお願いしています。

企業の方にも、回収ボックスを設置し、食品の回収にご協力いただきたいと考えております。お気軽にお問い合わせ下さい。

また、子どもたちの社会参加の入り口として、企業見学会や、職業体験の場をご提供いただくなど、ご協力をお願いいたします。

②「フリースペース風の家」では、高校生・大学生がボランティア活動を行っています。ボランティアに興味がある企業の方にもご参加いただきたいです。



NPO法人青二才

代表理事 鈴木祐磨
住所 〒329-0511 栃木県下野市石橋779-1
会員数 正会員13名
法人設立年 2023年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000906>

メールアドレス info@aonisai.net
ホームページ <https://aonisai.net/>

Facebook



Instagram



★ 設立の趣旨

私たち「特定非営利活動法人青二才」は若者たちが地域に参画し、地域で活躍する機会をつくり続けていくことで、人やモノやコトがより支え合い、つながりあいながら、より良い地域の実現を目指していきます。

自身のことを未熟と卑下する「青二才」な存在である若者たちが、地域とつながり、居場所や出番を獲得していくことを通して、可能性に満ち溢れる「青二才」な存在となり、結果まちづくりに繋がる社会を創っていくために若者たちの居場所と出番の溢れる地域をキーワードに、事業展開しています。

★ 事業の内容等

①若者支援事業 高校生もしもプロジェクト

若者の居場所づくりとして、ポップアップカフェ「どろっぷ」を運営しています。
若者の出番づくりとして、地域のお祭りやイベントでの若者参画を推進しています。

②しもつけUターン促進事業(下野市委託事業)

若者の地域活動促進のため、地域活動団体による若者の受け入れを支援しています。
SNSやパンフレット作成による若者の地域活動に関する情報発信や、下野市内企業でのインターンシップなどを実施しています。

③かみのかわ高校生プロジェクト(上三川町委託事業)

地域と連携しながら、高校生が主体となり、町を盛り上げる企画実施の伴走支援を行っています。

④地域づくり事業

下野市市民活動センターの指定管理、「シェアスペースWEL」の共同管理・運営、東方台地コミュニティ推進協議会の管理運営協力、下都賀地区ふれあい学習推進委員、「子どもの居場所づくり」に携わっています。

★ 私たちが提供できること

①若者と地域の連携

若者の主体性を引き出し、地域活動へ参画させるための実践事例やノウハウを提供します。

②子どもの居場所づくり

子どもたちが安心して過ごせる居場所作りの方法に関する知見を提供できます。

③行政との連携・協働

自治体からの委託事業や指定管理事業を通じて得られた、行政との連携に関する知見を提供できます。

④ネットワーク

栃木県内を中心とした、小学生から若手社会人世代にわたる幅広い若者のネットワークを提供できます。下野市、上三川町、栃木県庁などとの間で橋渡しをすることができます。さらに下野市を中心とした地域住民とつなぐこともできます。

⑤プロジェクト企画・運営

若者向けのプロジェクトについて、企画、広報、運営するノウハウを提供できます。

若者と大人、地域住民と行政といった異なる立場の人々が対話する場を円滑に進めるファシリテーションスキルを活かし、若者の主体性を引き出すための対話や伴走支援のノウハウを提供できます。

⑥施設管理のノウハウを提供

下野市市民活動センターや「シェアスペースWEL」といった施設の指定管理・共同運営に関するノウハウを提供できます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①地域の大人と中学生・高校生が対話する場を通したキャリア教育プログラムを実施したいです。

②中学生から大学生を対象とした職場体験プログラムを行いたいです。

③企業での学生インターンプログラムに取り組みたいです。



NPO法人みんなのカタチ

理事長 栗田しのぶ
住所 〒321-3622 栃木県芳賀郡茂木町大字北高岡44
会員数 正会員10名
法人設立年 2021年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000871>

メールアドレス ホームページにメールフォームがあります。

ホームページ <https://aiueo-hoiku.jimdofree.com/>

Facebook
(空と森のようちえん)



Instagram
(空と森のようちえん)



★ 設立の趣旨

自然の中でありのままの自分になる。みんな違ってみんないい。
大人も子どもも十人十色。
世の中には、いろんな考えやいろんな想いが満ちあふれています。
生き方や考え方の正解はひとつではありません。
気持ちを大切に、大人も子どもも [ありのまま] を認め合える場を目指しています。

★ 事業の内容等

- ①18歳未満の子ども及びその保護者を対象とした保育・教育活動事業
1歳児からの子どもと保護者を対象に、里山や田んぼなどで野外保育・野外教育活動を実施しています。
- ②野外活動事業及び自然環境教育事業
小学生以上を対象に、自然と触れ合い様々な疑問を抱かせる野外教育活動「やっぱり！はっけん！」を実施しています。
- ③子育て支援事業
親子で参加する子育て広場「やっほう」や、子育ての悩みを話せる場「おはなし会」を実施しています。
- ④野外活動に関する講習会・イベントなどの企画開催事業
保護者を対象とした研修会や、多様性を軸とした教育活動における有識者を講師とした講話を行っています。

★ 私たちが提供できること

- ①子どもとの関わり方の伝達
子どもとの接し方や関係づくりのノウハウについて、講習会や研修の形で提供できます。
- ②野外教育活動に関する講習会
自然の中での学びを活かした野外教育活動のノウハウについて、講習会や研修の形で提供できます。安全管理やプログラム設計などのノウハウも共有できます。
- ③自然体験活動の提供
子どもたちが自然と触れ合いながら学べる体験活動を提供しています。季節や地域に応じたプログラムの企画・実施が可能です。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

企業から保育ボランティアを派遣いただき、野外保育活動にご参加いただきたいと考えています。子どもたちの自然体験を支えると同時に、企業の社会貢献活動としても意義のある取り組みになると思います。地域とのつながりや子育て支援への理解を深める機会にもつながります。
企業からの保育ボランティアの方々と一緒に野外保育を実施したいと思います。



NPO法人いちかい子育てネット 羽ばたき

理事長 永島朋子
住所 〒321-3404 栃木県市貝町大字続谷1143-3
電話 090-3533-6521
会員数 正会員21名 賛助会員68名
法人設立年 2013年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000661>

メールアドレス habataki_ichikai_0_100@yahoo.co.jp

ホームページ <https://www.i-habataki.org/>

Facebook



Instagram



★ 設立の趣旨

羽ばたきでは、地域で人々に寄り添う身近な子育て支援、高齢化を視野に入れた多世代交流をすすめ、誰もが心地よく住みやすい地域づくりを目指して活動を行っています。身近な存在として地域の人々に寄り添う子育て親支援「安心してゆっくり過ごせるサロン」「充実した時間を過ごす放課後児童クラブ・地域活動」「自然豊かな里山を体験できる環境教育」などを行っています。

★ 事業の内容等

①きぼうの丘学童クラブ

旧校舎の広々とした校庭や、教室を活用した学童クラブです。手作りおやつで食への関心を高めたり、学年を越えた友達づくりを目指します。挨拶ができ、思いやりのある児童を育てます。

②自然体験プログラム

「サンバの里いちかい」には、「発見！体験！感動！」が待っています。地域と触れ合いながら、五感を使って楽しめるプログラムを実施しています。

③地域食堂

子どもたちも大人も、みんなが楽しくごはんが食べられる場所を運営しています。

④市貝町ファミリーサポートセンター

お子様の一時預かりや送迎などのサービスを提供し、子育てを応援します。

⑤子ども第三の居場所「はばたきっず」

「はばたきっず」は誰でも気軽に過ごせるみんなの居場所です。小学生はもちろん、中学生・高校生も、大人もおじいちゃんもおばあちゃんも自分らしくいられる、地域の居場所づくりを行っています。

⑥いちいはな駅前こども食堂

子どもが一人でも来られる場所です。地域の色々な人と、ご飯を食べながら交流できます。ボードゲームや、学習ができるスペースがあります。中学生・高校生の参加もお待ちしております！

★ 私たちが提供できること

①地域協力による子育てサポート

「居場所」の役割が重要になる中、地域の方々から様々なご協力をいただきながら子育て支援をしています。その経験を活かし、企業や団体の従業員、その家族向けの子育てのサポートにつなげることができます。

②自然体験イベントの企画・開催

自然体験プログラムでは、地元の農業法人との協働で、子どもたちに田植え体験などを提供いただいています。自然体験イベントの企画・開催ができます。

③ 地域食堂と地域との連携

「地域食堂」や、「いちいはな駅前こども食堂」には、地域の方、企業の方から食材などの寄付をいただいております。寄付のお気持ちを形にできます。

④地域住民の活動促進

ファミリーサポートセンターを通じて、地域の子育てを応援する活動に、地域の方が参加できる機会を提供しています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみよう

①企業によっては福利厚生メニューとして、ファミリーサポートセンターの利用料負担を加えていただいております。利用者が増えれば、広く子育て世代にファミリーサポートセンターの存在が周知できます。ぜひ職場の福利厚生メニューに取り入れていただき、情報発信にご協力ください。

②敷地内にある森のエリア、希望の丘では、定期的な草刈りにご協力いただける方を求めています。子どもたちの活動エリアを広げ、遊びながら自然体験ができる環境づくりにご協力ください。(子ども第三の居場所や子ども食堂での小学生・中学生への学習サポート、学習の見守り、一緒に遊ぶなど。)

③その他、企業の方からのお申し出に基づき、ボランティア活動メニューについて検討いたします。ご相談をお待ちしています。



中間支援

認定NPO法人宇都宮まちづくり市民工房

理事長 安藤正知
住所 〒321-0932 栃木県宇都宮市平松本町1131-1
会員数 正会員38名 賛助会員15名
法人設立年 2005年 認定 2013年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)
<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000258>

メールアドレス uts@utshiminkoubou.org
ホームページ <https://www.utshiminkoubou.org>



★ 設立の趣旨

市民工房は、「市民の手による、市民のためのまちづくり」実現を目指し、市民立のシンクタンクとして調査・研究及び政策提言を、またドゥタンク(Do Tank)としてまちづくり活動の実践を担っていきます。

★ 事業の内容等

- ①非営利団体支援
各事業で培ったノウハウを、様々な非営利団体に還元します。
非営利活動基盤の強化、事務支援、ビジネス講座などを実施しています。
- ②共助社会研究会
共助に関わる先行事例について聞き取り調査を行い、分析を経て、小冊子として発行します。
- ③農村交流プロジェクト
少子高齢化が進む集落で、人々の生活を支えている「共助」。交流の中でそれを体験し、その仕組みを都市部にも活かしていくことを目的とし、耕作放棄地の活用やイベントの参加・実施などを行っています。
- ④その他の活動
まちづくりや共助社会の実現のために様々な活動を行っています。

★ 私たちが提供できること

- ①里山保全と共生を目指す活動
中山間地域の団体と協働し、里山保全活動や野生動物との共生を目指した活動を行っています。「一般社団法人青空プロジェクト THE DAY」や企業などの協働事例があり、活動へ参加する機会の提供ができます。
- ②支援のネットワークづくり
孤立孤独を感じている人への支援や女性活躍への支援を実施しており、支援の場、人的ネットワークの紹介ができます。
- ③現場を知る機会の提供
現場で活動している団体を紹介し、現場を知る機会の提供ができます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

- ①団体の活動に対する人的支援や広報支援を一緒にできればと思います。
- ②自治会などのコミュニティ団体の必要性や地域の課題を知ってもらい、地元企業としての視点から課題について考えていただき、一緒に課題解決に向けて取り組みたいです。
- ③支援活動などに参加することで現場を知っていただき、一緒に課題解決に向けて取り組みたいです。



NPO法人とちぎ協働デザインリーグ

理事長 三橋伸夫
住所 〒320-0032 栃木県宇都宮市昭和2-2-7(とちぎボランティアNPOセンター)メールボックス35
電話 070-4288-7400
会員数 正会員29名 賛助会員15名
法人設立年 2018年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000817>

メールアドレス info@tochigi-tcdl.net

ホームページ <https://www.tochigi-tcdl.net/>

YouTube「とちぎ協働デザインリーグチャンネル」

<https://www.youtube.com/channel/UCbtOeV-0OPYdAeEbnp4jMQw>

Facebook



Instagram



★ 設立の趣旨

私たちは、まちづくりを幅広くとらえ、これに貢献するあらゆる個人、団体などの自立と協働を実現するというビジョンのもとに、協働によるまちづくりの調査研究、支援・協力、政策提言などを行うことを使命として理事と会員が協力し、実現していく仕組みを目指して参ります。

★ 事業の内容等

①人材育成事業

社会貢献活動に心地よく参加できるよう、「ボランティア入門講座」を開催し、団体運営の健全化を図るために、「会計基礎講座」や「マネジメント講座」を実施しています。

②調査研究事業

社会貢献活動やまちづくりを取り巻く現状を調査する事業、さらには勉強会を行っています。

③協働コーディネート事業

多様な主体が協働を行う基盤整備(プラットフォームづくり)を進めています。

④とちぎボランティアNPOセンターの運営

2007年4月から「とちぎボランティアNPOセンター」の運営業務を担っています。ボラ

ンティアを始めたい人や、NPO法人を設立したい方への相談などに対応しています。その他、ロッカーや印刷室、会議室などの貸し出しも行っています。

⑤講師派遣事業

多様な理事やスタッフによる講師派遣事業を行っております。社会貢献活動や、まちづくり、協働に関する講話ができます。

★ 私たちが提供できること

①企業の社会貢献活動の企画・計画づくりのお手伝い

②従業員向け、ボランティア入門講座などの実施

③CSRや協働などの事例紹介

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①企業のCSRを推進するため、従業員が参加しやすいボランティアプログラムを共に作りましょう。

②NPOなどの社会貢献活動団体の情報を社内報向けに提供したいと考えています。

③企業が持つ専門知識、技術、人材、物資などを活用した協働プロジェクトを共に企画したいと考えています。

④毎年12月は「寄付月間」です。私たちは寄付月間アンバサダーとして、寄付文化の重要性を周知しています。お金の寄付はもちろん、フードロス対策の食料寄付などオフィスや従業員のご家庭で不要なものを社会に回す寄付もあります。さらにボランティア活動も「時間の寄付」になります。寄付について一緒に考えてみませんか？



認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク

理事長 矢野正広
住所 〒320-0806 栃木県宇都宮市中央2-7-6
電話 028-678-3155
会員数 支持会員128名 団体会員20団体 賛助会員418名
法人設立年 1999年 認定 2007年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000015>

メールアドレス info@tochigivnet.jp

ホームページ <https://www.tochigivnet.com/>

<https://tochicomi.org/> (とちぎコミュニティ基金)

Facebook



★ 設立の趣旨

とちぎボランティアネットワークは、栃木県内に住む人の自発的な社会活動を促進し、ボランティアの仲間とともに、創意工夫にあふれる社会を創ります。

★ 事業の内容等

①ボランティアコーディネーション事業

ボランティアしたい人と現場をつなぐボランティアコーディネーションを行います。

②情報の提供

会報「とちコミ・SDGs通信」の発行を通じて社会問題の解決に向けた情報発信や、NPO間の連携強化を図っています。「みんながけっぷちラジオ」コミュニティFMミヤラジ(毎週火曜19-20時/77.3MHz)では、栃木(全国)の市民活動を紹介する番組を学生インターンとともに運営しています。

③政策提言活動

首長選挙での「NPO等の有志(約35人/団体)による公開質問状検討会」を主宰しています。県・市・町の首長選挙時の立候補者に対して公開質問状(アンケート)を実施し、情報公開します。これまでに4自治体の選挙で実施しました。

④助成事業

「とちぎコミュニティ基金」を通じて、栃木県内を中心に全国の被災地で、社会問題の解決に取り組む団体を支援しています。2007年からこれまでに、535団体に1億6474万円の助成を行いました。

⑤若年無業者、障害者の就労支援・生活困窮者の支援

県内3か所でフードバンクを運営しています。

⑥災害救援及び復興支援

1995年の阪神淡路大震災以来、30年間に25回の災害救援活動を行いました。参加したボランティアは延べ1万6679人、救援活動をするNPOへの寄付総額は2466万3404円となっています。

2024年1月1日に発生した能登半島地震と9月21日の能登水害に対し、延べ760人のボランティアを送り出しました。現在は月2回のボランティア便を運行。復興支援として援農や仮設住宅の支援を行っています。また、行政に対して政策提言を含むアドボカシー活動を行っています。

★ 私たちが提供できること

①防災教育への協力

従業員・社員向けに防災教育に関する講座や災害ボランティアに関する出前講座ができます。また、災害発生時には現地ボランティアプログラムを提供できます。

②フードバンク(フードバンク相談室:宇都宮、フードバンク県北:大田原・那須塩原・矢板・那須・那珂川、フードバンク日光:日光)

会社や従業員宅で眠っている食品(賞味期限が1か月以上あるもの)の寄贈を呼びかけ、提供された食品は生活困窮者や福祉施設に届けます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①フードバンクでは、個人、企業から食品を受贈し、生活困窮者や福祉施設に寄贈しています。食品提供のみならず、相談対応も行い、生活困窮者や外国ルーツの人、母子家庭、低年金高齢者、若年無業者、障がい者などへの包括的な相談支援を行う「NPO法人ユニバーサル就労ネットワーク栃木」とともに障害者手帳がない人でも働ける社会にするための就労支援を行っています。ご協力をお願いいたします。

②NPOとの協働(約50団体)。「SAVE JAPAN プロジェクト」では、県内の環境NPO10団体とともに生物多様性の保全を行う活動を実施しています。

「子ども SUNSUN プロジェクト」では、子どもの貧困をテーマに県内NPO約20団体とファンドレイジング(寄付集め)・イベント「サンタdeラン」を実施しています。

「チャリティウォーク」では、県内のフードバンク6団体とともにファンドレイジング・イベントを実施しています。参加をお待ちしています。



NPO法人ハイジ

代表理事 大波龍郷
住所 〒328-0016 栃木県栃木市入舟町6-8 (きららの杜とちぎ蔵の街楽習館1階(とちぎ市民活動推進センター))
電話 0282-20-7131
会員数 正会員20名
法人設立年 2006年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000288>

メールアドレス kurara-tochigi@cc9.ne.jp(くらら)

ホームページ <https://www.kurara-tochigi.org/>(くらら)

Facebook
(くらら)



Instagram
(くらら)



X
(くらら)



★ 設立の趣旨

市民一人ひとりがふるさとの文化を大切にしながら、自立した個人として生活を豊かにすることを旨とした市民活動の支援を行うことにより、豊かなコミュニティを作り上げ、市民協働のまちづくりを推進しています。

★ 事業の内容等

①市民活動の情報収集・提供事業

「とちぎ市民活動推進センターくらら」の登録団体をはじめとする市民活動に関する情報、センター主催の講座や交流会などの情報について、館内掲示、情報紙の発行(月1回)、ホームページやSNSで随時発信しています。

②市民活動促進のための相談・調整事業

市民活動団体やNPO法人の設立・運営、ボランティアの活動先、助成金などに関する相談対応や情報提供を行っています。各地域の公民館などと連携した地域住民向けの講座の企画運営なども行っています。

③市民活動団体に関する研修・人材育成事業

市民活動と市民協働のまちづくりを促進するために、団体運営や地域課題解決について学ぶ講座や、市民や高校生を対象にしたボランティア体験のプログラムなどを実施しています。依頼に応じて市民活動に関する講演や学習会なども実施しています。

④市民・市民活動団体・企業・行政間の交流連携促進事業

センター登録団体で組織する利用者協議会とともに、利用者の交流を促すための全体会議・交流会・視察研修などを実施しています。また、年に1回「くららフェスタ」を開催し、登録団体をはじめ企業や行政も多数出展しています。

⑤市民活動に関する調査研究を行い、政策提言につなげています。

★ 私たちが提供できること

①市民活動、ボランティア活動の支援

栃木市より「とちぎ市民活動推進センターくらら」を業務委託され、市民活動(NPO・ボランティア・社会貢献など)と市民協働のまちづくりを推進しています。

市民活動団体(センター登録団体(R6:246団体)・NPO法人)に関する情報提供や紹介ができます。

市民活動、ボランティア活動、寄付などに関する相談に応じることができます。

②企業の社会貢献活動を紹介

当法人とつながりのある各機関・各地域や市民活動団体などに、企業の社会貢献活動と魅力を広く紹介することができます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

「とちぎ市民活動推進センターくらら」の運営で培った市民活動団体・各機関とのネットワークがあります。ボランティアに参加したい、物品を提供したい、団体のことが知りたいなど、地域貢献のパートナーとして気軽にご相談ください。



NPO法人かぬま市民活動サポーターズ

理事長 井上玉枝
住所 〒322-0054 栃木県鹿沼市下横町1302(まちなか交流プラザ1階)
電話 0289-60-2212
会員数 正会員17名
法人設立年 2012年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000565>

メールアドレス sapo@kanuma-sapo.org

ホームページ <https://kanuma-civictact.jimdofree.com/>

YouTube <https://www.youtube.com/@かぬま市民活動サポーターズ>

★ 設立の趣旨

私たちは、市民、地域企業、市民活動団体、大学等の研究機関及び学生・生徒とのコミュニケーションを図りながら、社会貢献活動及びその支援を行っています。市民の期待するニーズに応えるために情報交換、連携を積極的に進めながら、団体間の協働を推進しています。まちづくりを加速し、持続可能地域社会を実現すべく活動しています。

★ 事業の内容等

①市民のIT力向上事業

企業でIT系技術者だったスタッフ3名を中心に丁寧に行っています。小学生から高齢者まで、基礎からマニアックな領域まで色々な講座があります。

②若者支援事業

「独立行政法人福祉医療機構WAM助成」を受けて、ひきこもり当事者の居場所、カウンセリングや各種講座、また、ご家族への相談支援や勉強会など、一人ひとりの状況やニーズに合わせて、公認心理師などの相談員がサポートする事業を「一般社団法人コブル」「NPO法人CCV」などと協働で取り組んでいます。

③利用者会議自主事業

2022年より「市民活動ひろばふらっと」の利用者会議メンバーが主体となって1階メインスペースで「ふらっと土曜日コンサート」を毎月開催しています。また、「ハッピーサタデー+土曜日コンサート」として音楽以外にも体験・展示・飲食コーナーを設けるなど、市民が創るまつりイベントをスタートしています。

④企業とNPOの連携事業

企業と市民活動団体のマッチングを行っています。

★ 私たちが提供できること

主に鹿沼市地域での市民活動及び社会貢献活動の支援、活動スペースの提供、情報の収集・提供、相談・コーディネート、教育・研修、交流促進、調査研究を行っており、これらの活動で培ったノウハウを提供することができます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみよう

- ①インターンシップやボランティアなど随時受け入れています。
- ②毎月開催している「ふらっと土曜日コンサート」など、イベントを一緒にしませんか。
- ③企業とNPOが連携を進めています。2024年度は5社6団体のマッチングを行いました。どうぞお声がけください。



NPO法人ま・わ・た

理事長 飯野滋生
住所 〒321-4306 栃木県真岡市台町4152
電話 0285-81-5522
会員数 正会員25名 賛助会員24名
法人設立年 2010年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000501>

メールアドレス mawata.moka@gmail.com

ブログ <https://blog.canpan.info/mawata-moka>

YouTube「コラボレちゃんねる」 <https://www.youtube.com/@コラボレちゃんねる>

Facebook
(コラボレもおか)



Instagram
(コラボレもおか)



★ 設立の趣旨

民間支援組織として、営利を目的としない社会に貢献する活動を行っている個人や団体に対して支援をしています。市民の自主的な活動による豊かな市民社会の発展に寄与する活動を行っています。市民活動の中間支援を基盤に、フードバンクの活動にも取り組んでいます。

★ 事業の内容等

①真岡市市民活動推進センター「コラボレもおか」の管理運営

2011年4月から同センターの指定管理者として管理運営業務を行っています。市民が気軽に参加できる活動として、団体の話を聞いたり体験したりする「こらぼ茶話」や、花火大会後のごみ拾いを行う「花火大会クリーンボランティア」などを実施しています。また、市民活動団体向けには、団体の運営や活動の支援となる「スキルアップ講座」なども開催しています。2022年からは真岡市と共催で5月～9月に高校生向けのボランティア体験企画「押し街ボランティア」、11月～3月には五行川の草抜きなどを行う「五行川クリーンボランティア」も実施しています。

②フードバンク

「フードバンクもおか」を運営しています。2023年6月からは倉庫兼事務所となる拠点で、ほぼ毎週、食品の配布や相談対応を行っています。真岡市産業祭などのイベントにも参加・協力しています。

③福祉事業所運営事業

「多機能型事業所そらまめ」の事業継続・法人化のための伴走支援を行っています。年間を通じて「就労継続支援B型のそらまめ食堂」と「生活支援」事業を運営。さらに、子どもたちが福祉に触れる機会として、夏休み・冬休みに実施する「図書館プロジェクト」や、食堂施設を活用した地域食堂「まめっこ食堂(通年)」も展開しています。

★ 私たちが提供できること

企業と地域住民をつなぐお手伝いをしています。ボランティアプログラムや市民参加イベントの企画立案のお手伝いをすることができます。

社員の皆さんや多くの市民が地域のために動く仕掛けづくりを一緒にやりましょう。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみよう

私たちの団体は、人と人とのつながりを大切にしながら活動しています。現在は、市からの委託事業を中心に、地域の様々な団体やボランティアの方々と協力し、地域課題の解決を目指しています。

企業との協働実績はまだありませんが、地域の皆さんとともに取り組む社会貢献プログラムや、対話の場づくりにご協力できればと考えています。

社会課題や地域課題を「自分ごと」として捉え、真摯に向き合っている皆さんと力を合わせ、真岡市を中心に市民活動がより一層活発になるよう取り組んでいます。そして、誰一人取り残さない社会の実現に貢献できる活動を目指しています。市民活動やボランティアに関するお悩み・課題はもちろん、「ちょっとボランティアをしてみたい」といったご相談にも幅広く対応しています。ぜひ私たちとつながって、よりよい未来に向けて一歩を踏み出しましょう。

